

第146回簡易アンケート自由意見(745件)

質問12

埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談に対する御意見等がありましたら、自由にお書きください。(例:効果的な広報に関する事など)

1	現在急に妻84歳がこの県政をみている最中に発症して横で嘔吐しました。早速本アンケートを注視して救急対処します。
2	救急車の要請や救急電話の要否を判断することができないお年寄りが一人暮らしの場合、親族又は近隣住民との良好な協力関係が求められる。 協力を求める側の独居老人はもとより、協力する近隣住民にも啓発が必要と思います 救急機関や地域行政機関は「地域の連携による支援」を啓発していただきたいと思います
3	こんな制度、知らなかった。うんと自慢して良いと思う。
4	何だか知らないコトばかりでした……。あまりにも新しい分野だと思いますので、県民に周知させるのがまず第一ですね。埼玉県は、上田知事をはじめとしたPRは功を奏していたと思っておりますので、PRの策を練りましょう！！ かしこ
5	気が付いていませんでした。 身の回りの緊急事態に備え、それに応えるシステムは県民にとってとても意義のあることです。私も何かあったらぜひ活用したいです。
6	今まで急病になったりけがをしたことがないので救急電話相談やAI救急相談に対する関心は薄かったが、今後はもう少し興味を持っていきたい。
7	埼玉県は医師の数が少ないこともあり、全国でも最下位の医療後進県といわれる。首都・東京に隣接しながら救急車のたらいまわしで助かる命が失われてきた。半面、軽症なのにタクシー代わりに使う例も後を絶たない。 本当に必要な患者を選別するため、電話による救急相談は重要な存在である。県はステッカーを大量に作って、まず、不必要な救急患者を選別すべきだ。2年前、家内が転倒骨折した際、タクシーで近くの外科に行ったが、医師が対応できず、そこから救急車を手配してもらったが、3か所目で受け入れてくれた。しかし、大腿骨骨折で痛がる患者を入院させたまま、1週間も待たせた。手術待ちの患者があふれていたからだ。病院の名前を永久に忘れない。 この時、このままの医療体制では、埼玉県に住む以上、助かる命も助からないと思った。歴代の知事は医療の問題を真剣に考えてこなかったつけは大きい。埼玉県の最大の恥部だと思う。
8	私自身体調に異常があり、電話相談しましたが、自分が当事者の場合、チャットは厳しいのではないかな。
9	電話の医療相談については、家内がよく利用していますが、救急電話相談は使用したことがない。というのは、救急電話相談とは、救急車を呼ぶべきかどうか。来てくれるのかどうか、救急の措置方法等を教わるのか、等何を相談するのかよくわからなかったし救急医療の機会もなかったためです。AI救急相談はPCから打ち込んで相談できるので非常に良いと思いました。
10	#7119の番号は自宅に目立つように掲示してある。 AI相談は試してみたい。
11	#8000で、つながりにくい&アドバイスが役にならなかった、ということがあり、このようやサービスは使う気にならない。休日夜間に空いている病院を紹介してくれる番号の方が役に立ちそう。
12	?7119を知っている人は少ないと思う。 もっと公共の場所に知らせる、回覧板の広報誌に載せるとか、知らせて！
13	”知らない”ことが多い。これ私の責任？行政の公報不足は……
14	「AI救急相談がある」ことについては、全く知らなかった、知る機会が無かったのが実感。どのような方法で県民に周知させているのか…大変疑問に思いますが。 折角の施策を普及する工夫を是非お願い致します…
15	「埼玉県AI救急相談」については、認知度がまだ高いとは言えないので、積極的にPRしてほしい。
16	・各種の広告媒体に載せて載せたいと思います。
17	・県民への効果的な広報活動を再検討すべきと考えます。
18	・行政各所で広報活動にAI(HPなど)の活用が叫ばれています。そして、各種広報活動が万全のように考えているようです。しかし、AIが活用できる環境が整っている世帯数はどれほどでしょうか？ 非常に危惧しています。
19	・聞いたことも、使うことも知らないもので、もっと告知の間口を広げて広報等考えていただきたい。
20	1. 本件を告示するタイミング、場所が少ないこと 2. どのような利便性・機能があるのか知らないの使にくい 3. もっと身近なものにしてほしい 4. かかりつけの病院や医院でもPRしてほしい

21	10年くらい前に、何度か子どもが小さかったりして相談したことがあった。大体、うちで様子をみてくださいと言われたから、電話したこと自体、大袈裟だったような気にすら、なりがちだった。そもそも、どういつかいかたをすればよいのかイマイチわからない。
22	110や119を利用する為、救急電話相談やAI救急相談窓口は馴染みがない。県の広報等で定期的にPRをして下さい。
23	119に電話をするべきか相談する電話番号があることは聞いたことがある。それが「埼玉県救急電話相談」や「埼玉県AI救急相談」に該当するのかわかりません。この制度は、全国一律なものではなく、埼玉県独自の制度なのか？なぜ、「埼玉県」と表記されるのか？
24	119番が無用な電話で手一杯になり、肝心な患者を救えないと聞いたことがある。もっと病院、町の掲示板、交番の掲示板などに宣伝した方が良く思う。
25	119番を使うのは勇気がいります。なかなか使えない。相談できる番号があれば安心できます。脳梗塞など外から見ただけでは分かりにくかったり、でも身体の中では緊急事態が起こっているかもわからない。相談できる番号もっとPRして欲しい
26	①医師の相談を開設してほしい。診察の有無等になると看護師の判断以上の知識が必要ではないか。電話相談であっても確実な判断を希望する。②精神科の相談窓口を開設してほしい。
27	24時間365日対応してくれるのは、心強いです。
28	24時間体制になったことは良いことだと思います。AIを使うことは悪いことではないが個人的には好きではありません。何故一部だとしてもAIに委ねるのか？それも人命がかかっているのにだ！！！！
29	AI救急相談は広く告知されているのでしょうか？また年末年始など、相談が多そうな時期などもスムーズに対応できるのでしょうか？気になります。
30	AI救急相談の利用方法を広報等を通じ、周知をお願いいたします。
31	AIが相談を受けてくれるなら、すごいとは思いましたが、人間の方が良いのかなと思ってしまいました。
32	AIチャットが使えるなら気軽に相談できそうでいいですね。一昨年子供の不調を風邪と思っていた私と一番目の医者。三日後熱下がらず休日診療で同じ薬で延長2日後学校の先生に肺炎ではと電話で話された上で3つ目の病院でマイコプラズマ肺炎が判明し、重篤で入院になってしまったことがあります。医者を渡り歩いてわからず、時間が過ぎて重篤化させてしまった恐怖があり、ちょっとしたことで何度でも迷惑かけずに相談できる場所が欲しかったです。 アプリ まいたまのトップにチャットが出現したらうれしいです。
33	AIって細かいところまで相談になれるの？
34	AIとは？PRしてくれませんか。聞いたことがないので。
35	AIには相談したくないな。
36	AIの得意分野なので、どんどん活用して欲しいです(^)
37	AIは、知りませんでした。緊急相談があるのは知っていましたが、番号覚えておらず今回119に7を頭に付けると覚えましたが、実際にはわからなくなってしまうので、貼って置こうと思います。
38	AIは家族も知らなかったの、まずは知名度向上をお願いします。
39	AIは少し心配です。
40	AIは知らなかった。以前子供がティッシュを飲み込んでしまいパニックになり利用したところ、冷静に聞いてもらえて助かったことがあるので、今後も続けてもらいたい。
41	AIは知らなかったの、調べてみます。SNSでの発信頻度を上げて駅や病院、公共施設、いろんなところで目につくようにしたら認知されると思います。
42	AIは良いですね
43	AIへの信用度がどれくらいあるのかわかりませんが、命にかかわるような相談をしてよいのか不安で心配です。
44	AIを使った救急相談は新しく、画期的だと思う。今、通院していますが患者の多い病院は通いたくても、予約すら取れず治療を断られたり、何度も電話をかけてようやく予約がとれるまで1年位かかったので、埼玉県の医師の不足は深刻な状況だと思った。
45	AI救急の使い勝手がいま一つよくわからない。模擬演習・広報などを通して県民に周知することが大切です。
46	AI救急は、是非、広く告知してほしい。
47	AI救急をもっと宣伝して欲しい
48	AI救急相談、利用してみたいです。

49	AI救急相談があることを全く知らなかった。 乳幼児のいる家庭では、相談したい機会が度々あっても、電話をかける程ではないかも・・・と躊躇することが多くあり、AIであれば気軽に相談しやすくて良いと思うのもっと周知されるようになった方が良いと思います。 子育て支援センターや児童館・幼稚園・保育園・小学校などにチラシなどを配布したら良いと思います。(現在乳幼児がいないので、すでにチラシを配っていたら申し訳ありません)
50	AI救急相談でなんですか。解り難い・なじみのない名前ですね。要するに一般の救急車の出動回数を減らすための施策だろうと思います。こんな複雑な事をせず①救急車の「有料化」(同時に幅広い減免)②緊急要請の啓蒙・・・小学生に緊急事態とは等を教える。③救急要請でも緊急性のない事象は断る。(近所で慢性的に救急車を呼ぶ人が居る)・・・大人で解っていない この様に救急車そのものの内容について「ハッキリと毅然と」啓蒙活動をしなければならないと思います。
51	AI救急相談というものがあるのを全く知りませんでした。 もっと大々的に載せた方が良いと思います。
52	AI救急相談とは、どういう事をどのようにするのか内容が不明
53	AI救急相談とは何なのか、色々な方法で 広めてほしい。
54	AI救急相談とは始めて知りましたどのようにして使うのかが知りたいです
55	AI救急相談について、もっとおしえて、頂きたいです。
56	AI救急相談について、もっと情報がほしい。
57	AI救急相談についての詳細、使い方を地域のイベントなどで紹介、広報してください。
58	AI救急相談については、承知していませんでした。 積極的な姿勢を感じる取組なので、ぜひひろく周知していただきたいと思います。
59	AI救急相談については知らなかったもので、もっと周知してほしいです。電話をかけることが難しい(聴覚)障害のある方にはいい制度だと思いました。こうした相談窓口が充実することで、少しでも不要な救急車の利用や、救急外来受診が減るといいと思っています。
60	AI救急相談のシステム大変面白いと思います。気軽に使えるところがとても良いです。 ただ、認知度は低いと思われます。実際、家族の中ではこのサービスを知ってる人がいませんでした。せつかくの仕組みですので、多くの方に知って頂けるようにしていくことが重要と思います。
61	AI救急相談のほうがちゃんと話を聞いてもらえそうだし、データも豊富だと思うので、信頼できると思います。例えばどんな相談があり、どういう回答が出るのかを公報してもらえると、イメージができるので理解が進むと思います。
62	AI救急相談の認知度が私の周りの人達には低いようなので 今後とも 使いやすさや、認知度を高める活動をお願いします。
63	AI救急相談はまだ理解できない事もあり、いろいろと勉強しようと思っています。確実なアドバイスがあるとは思いますが、信用が大切だと感じています。
64	AI救急相談は今回のアンケートで初めて存在を知った。 良い取り組みなので 是非とも周知活動に力を注いで欲しい。 ただ、リンク先を見て、救急時にサイトにアクセスして見つけ対応できるかという難しいように思える。 スタート前の画面までのQRコードとURLを記載したカードを病院などに設置し、普及活動とアクセス時のスムーズ化を図るなどが良いと思う 電話相談とAI相談を共に名刺サイズからポケットティッシュサイズの物に記載し配布が良いのではないか
65	AI救急相談は今回初めて知りました、もっと啓蒙が、具体的に必要と思います。埼玉県救急電話相談は、約20年ほど前、深夜に使用しましたがなかなか適切でした。提案に従い、自家用車で家内を病院に連れて行きました。
66	AI救急相談全く知りませんでした 老人にとって110番119番は知っていてもその他の相談窓口は知らないのでは無いでしょうか？ こんな事象の相談窓口はここですよと判別できる一覧表を各家庭に配布するのは如何でしょうか
67	AI相談は知らなかったもので、PCやスマホをよく利用する世代への周知が効果的にできるように、県・市区町村・病院などのホームページの掲載や、その世代がよく利用する施設(役所・病院・駅・金融機関・教育施設・商業施設等)のポスター掲示やチラシ設置をするとよいと思います。
68	AI相談は知りませんでした。 もしもの為に、有効になればいいのですが……。
69	AI救急相談を広く県民のみなさんに、広報に呼び掛けてください。 これは県民のみなさんには知らないはずだと思いますので、チラシとか広報づくりを作って欲しいです。

70	FACEBOOK TWITTER で広報してください。
71	HPなどでAI救急相談で事業の内容をよく確認しておきます。
72	JRのトレインチャンネルはつい見てしまうので、広報ツールとしては良いと思う。 (料金が高いのがネック)
73	PRが足りない。
74	PRが必要。 役に立った、助かったの事例集が多くできる、有効な手段としてPRできるレベルのシステムが活用度が上がるのではないのでしょうか。
75	PR不足ではないか？
76	QRコード付きチラシの作成 →手渡し配布(住民票転入手続時、母子手帳配布時、両親学級時、幼・保入園説明会時、診察時、)
77	SNSなどで広告出せばモットしれわたると思う。
78	SNSを積極的にお願いします。
79	YouTubeに動画を上げる。
80	アナログ情報は、チェックしているつもりでしたが、救急電話、AI救急共に知りませんでした。PR不足だと思います。新聞掲載記事を見ませんでした。
81	あまり知られていないので医療機関での周知してほしい
82	あまり世間に認知されていないようなので広告などで広めたほうが良いかと思えます。
83	あまり認知されていない気がするので、もっとネットやテレビ、新聞、ラジオなどを通して、知ってもらう必要があると思えます。
84	ある程度余裕がある時はAIもひとつは手だと思うが、緊急時にどこまで使えるか不安がある
85	アンケートで初めてしりました。 広報活動を行う必要あると思いました。
86	アンケートで初めて知りました
87	アンケートにお役に立てませんでした
88	アンケート回答にあたり早速見てみましたが、両者が分かれて掲載されているだけでも利用しづらいし要領を得ないな、と感じました。 子供が小さな時は、急な大けがや病気で救急医療相談にお世話になって大変助かったものの、市報か冊子で番号を探した気がしますので、一覧性に優れ貼付出来るようなカードや何か、すぐ利用できる形になってほしいのでは。
89	アンケート結果をオープン頂いておりますが、「参考で結構ですので」アンケート結果開示の際、埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談利用状況、1日何件の問い合わせ、年に何回の問い合わせという、現状の利用状況を数値で発信頂きたい。
90	いい取り組みだと思います。 ただAIでも人間でも現場の人にとってどうしても判断がディフェンシブになってしまうと思うので、結局かなり極端な例しか救急車搬送抑制につながらないと思います。 責任の所在をはっきりさせ、現場対応の人がやりやすい環境を整えていただきたい。
91	いい取り組みだと思う。ただ、相談内容によっては 医師なら良いが、医師でないものが 医師の発言のような事はやめてほしい。AIは逃げではないが 相談相手としてはいいと思う。 人の発言ではないので。誰のせいにもならない。作った人のせいになるのかな？
92	いざという時に救急電話相談の番号を思い出せるか自信がありません。 救急電話相談の番号やアドレスを家庭内に貼っておけるようなものを配布してくれるとありがたいと思いました。
93	いざという時に使うものなので、急病になる前に知っておいた方がいいと思いました。広報に載せたり、市役所や公共施設にポスターを貼るなどしたらいいと思います。
94	いざという時慌ててしまい、電話番号を忘れてしまいそうなので、電話番号を忘れないようにしたい
95	いざと言うときに知っているのと心強いですね 固定電話の側にも掲示できるようにステッカーなどが欲しいです。実際に利用した方の意見も聞いてみたいです。
96	いざの時の安心 安全が確保出来ると思えます。
97	いずれの相談も、印刷物で配布されていたら、永久保存して周知徹底されていてと思う
98	いずれもアピール不足。 知らない人も多いのでは？
99	いずれも自治体や医療機関等でさらなる周知が必要かと思えます。取り組みとしては非常に良いものだと考えます。
100	いずれも知りませんでした。知識として学びたいと思えます。

101	イベント参加の時に 名刺サイズのPRカードをもらいました。大きなチラシと違い 持ち帰りやすく 家で目立つところに置いてあります。
102	イベント等で使い方を啓発してほしい。 また、一人暮らしなど具合が悪くなった時にセンサー等が反応して救急連絡ができるシステムも開発してほしい
103	いままでそういう電話相談があることを知りませんでした。
104	いろいろなツールが開発されていますが認知度が低いものもありそうです。幸いにして使うケースが起きていないことは良いことかもしれません。
105	いろんな救急対応の仕組みを作っていただき有り難う御座います
106	いろんな事が進んで 有難いです。
107	いろんな電話相談がありますがどんなのがあるかよく知りません 広報誌などでPRしてください
108	うまく症状が説明出来るか心配になる。
109	お医者様の待合室などへ貼り出したら宣伝効果は上がると思う
110	お恥ずかしい話しながら「埼玉県緊急電話相談」や「埼玉県AI救急相談」の存在すら知りませんでした。知らないですんで居たことを感謝すべきではありますが、これらの存在を高年齢層にもっとPRすることが肝要ではないでしょうか。
111	お年寄りがAIを活用するとは思わない。やはり緊急の時は119番というのが根付いている。119にかけて、そこから枝分かれしてのアナウンスの方法があればなお、いいと思う。
112	お年寄りや小さな子供のいる家庭で、認知されているのか気になりました。
113	カルテの共有で、日本中どこに搬送されても、医療既往歴がわかれば即時治療に約立つ 電話通訳のある医療機関を設置
114	きちんと知識のある方が答えているのか疑問に思う答えでした。 救急車を呼ぶべきか迷っているから相談しているので、相談を受ける側もリスクを考えず、少しでもヤバイと思ったら「救急車呼んでください」って強く言って欲しいです。 こちら第三者に背中を押して欲しいから相談しているので。
115	キャラクターのヌーを使って、わかりやすく周知する必要性を感じる
116	けがや急病の応急対策として、救急電話相談の必要性や効果等の重要性については理解しております。 これまで電話相談等は未実施ですが、これから実施する可能性があります。 できれば救急相談電話等の宣伝PRを、もう少し県民に向けてお願いしたい。
117	こういう相談機関があることはまったく知りませんでした。 連絡先を書いたシールを配布して玄関や電話機の前に貼るようにアピールしてほしい。
118	こういう相談窓口の存在を初めて知りました。今まで程々に健康であったのかもしれませんが、今後、この種の場面が生じた場合には、是非とも活用していきたいと思えます。
119	こういう有意義な機関があることをさらに県民に知らせてください。学校活動を通じて小さな子どもたちにも知らせてください。
120	このアンケートで始めて知りました。詳しく調べて見ようと思います。県の広報だけでなく、テレ玉や新聞の埼玉版などでも取り上げてほしいです。また引越して転入手続きをする時に、電話番号が載っているシールなどを配ってくれたらありがたいなと思います。
121	このアンケートで初めて埼玉県救急電話相談について知り、いざという時に覚えておきたいものだと思います。
122	このアンケートで初めて知りました。県民の認知度は低いと思います。 情報を取りに行くのではなく、もっと、送り出さないと、認知度は高くない。 県の広報誌に毎月掲載した方がよい。
123	このアンケートで知らないとしたら何も質問されませんでした。 知っている人だけのアンケートでよいのか疑問を感じました。
124	このシステムがあることは知っていたが自分の身に起きたことがなかったので詳細を知らなかった。自治会広報などでみたことがあったけど。これからはよく勉強をしてせつかくのシステムを家族・近隣へ相互確認をして行きたい。
125	このメールで初めて知りました。
126	このようなサービスがあることを知りませんでした。とても、役立つと思いますので、もっと、衆知させる活動することを希望します。
127	このようなシステムがあることを全然知らなかった。もっと広報に力を入れて下さい。
128	このようなシステムがあることを知りませんでした。
129	このような仕組みは大切な事業だと思う。これまで知らなかったが、困っている人がいたら進めたいと思う。相談ごとへの適切な対応が大切だと思うので、相談員の質の向上に励んで頂きたい。

130	このような窓口は我々一般市民には殆ど知られていないと思います。もっと周知して頂ければと思います。具体的には、水漏れ処理の業者さんが冷蔵庫に貼り付けられる磁石付きのシールが在りますが、そういう目に付くような形で各家庭に配布できれば良いかも。役所は制度を作るのはお得意のようですが、活用はされないで人員だけ増えていくと言うケースが多いように思います。
131	このような電話相談があることは全く知りませんでした。情報のアンテナはかなり広範囲に向けているとは思っていましたが……。ということは、この電話相談に対するPRが全く機能していないのではないかと埼玉県民の保険証の裏にきさいするとか、各病院に大きなポスターを貼る。大規模病院には枚数多く張ってもらう。県の広報誌に一面半分或は全部をさき広報する。磁石付きのカードを各家庭に配布してみても如何か？
132	このような電話相談が出来るようになったこと、一刻も争うときに戸惑うだけだ ぜひ利用したいと思いますが知らなかったことがとても残念です。
133	このような役立つ電話相談があるなら、もっと使いやすくそのシステムを知らせて欲しいと思います。
134	この関係は存じ上げず、残念、今後県ホームページで検索勉強します。メールでの広報をどんどんしてください。
135	この県ではなくて、別のところなのですが、医療の電話相談でいつもイライラさせられていたので県のがそうではないことを期待します。電話相談窓口が、責任を負えないから肝心なことを答えられないんだらうなあ、と、電話相談の担当も、やつつけ仕事感をいつも感じていて、電話相談は本当にいい目合った事がありませんでした。 そうでなければいいんですけど・・
136	この仕組みをこのアンケートを通じて初めて知りました。是非とも活用したいと思います
137	この仕組み各家庭の配布に保存版でお願いします。
138	この自治会で近所の一人暮らしの高齢者が倒れて、救急車を呼んだ。が、すぐ病院へ行くのではなく、彼が通院していたいくつかの病院へ救急隊が電話を入れ了解をとる仕組みになっているとのこと。彼の通院病院が数カ所あり、全てに連絡したが、却下され。最後に彼に言わせると(意識が回復した時の話)、入院したくない病院へ入ったとのこと。結果は、脳内出血でしたが、出血が少なかったため、治療までの時間が1時間もかかりました。もし出血がひどく、治療が遅くなれば、身体が不自由な後遺症が残るとのことでした。それを聞いて、救急車を依頼しても、すぐ病院には運ばれないことを知り、もし脳に異常があった場合、すぐ治療が出来ないと、後遺症が残ってしまう恐怖を感じています。その辺の素早い対策をお願いしたいと思います。
139	この様なサービスがあったとは知りませんでした。ちょっと使ってみたのですが、もう少し簡単だとお年寄りや子供にも手軽に使用できると思います。
140	この様な相談窓口があることを知ることができてよかった
141	これからも、無駄な救急車依頼がないように、告知したほうが良い。
142	これから埼玉県救急電話相談活用したいと思います
143	これって効果的なんですか？よくわからなすぎです。
144	これまで緊急事態に遭遇していないこともあり、いずれも知りませんでした。AI緊急相談はいいアイデアだとは思いますが、果たして緊急時にチャットをする余裕があるだろうか、動転してしまってそんな余裕はないような気がします。
145	こんないい仕組みを知りませんでした。
146	こんな便利、有意義と思われる相談を知りませんでした、内容を良く知り活用できればと思います。
147	こんな便利なものがあるなんて知らなかった。
148	さいたま市の市報は毎月必ず読むが、県の県報はしっかりよまない。県がかかわる情報を毎月、簡潔に載せてほしい。救急相談の対応可能等情報は県報の表紙に目立つように簡潔に載せる。その他①県の各部課での雇用情報(常勤、非常勤パート別、又障害者雇用の情報(20時間/週の縛りが雇用の拡大につながっていない様子。15時間/週もつくり障害者の負担を減らす…等)。②県の関連施設での催し情報(テニス教室、卓球教室、ノルディックウォーキング教室、太極拳、健康体操教室、ボイストレーニングその他)。
149	さいたま市の防犯関連メール等の最後にPR文を掲載してはいかがでしょうか？
150	サイトを開いてとりあえず試してもらえるように、ネットに広告を出すなどができたら効果的かと思います。若年層の利用者ができ、救急時の相談だけでなく、県が力を入れていることのアピールにもつながるように思います。
151	ショッピングセンター等にも、もっと分かりやすくお知らせしてください。
152	知らない
153	知らなかったこと自体恥ずかしいので何も答えられないのが残念でした。
154	スーパー、コンビニ、公民館などの出入り口などに大きくポスターを掲示することで周知してほし

155	スーパーやコンビニを活用してPRすると効果的だと思います。
156	スマホで相談できるようになれば、緊急でない人の救急車使用が減ると思うので(期待も込めて)、助かる人が増えると思う。良い活動だと思います。
157	スマホやPCでの相談は、今回のアンケートで初めて知りました。普段スマホを使っている人には、大変便利かと思います。
158	すみません、全く知らない事でした、
159	せっかくあるのなら、もっと身近なところで、市の広報等でも 電話相談のことを知らせてほしい。
160	ぜひ周知をと思いますので、私も広めます。
161	そういうのがあったこと自体知らなかった…… そういうがあることをもっと広めた方がいいかと…
162	そういうものがある事自体知りませんでした。 勉強になりました。
163	そういったものが導入されたことは全く知らなかった。今回のアンケートで初めて知ったので、これも広報のひとつだと思った。
164	そのようなシステムがあることを全然知らなかった。
165	そのような事態になったら使う。
166	それぞれの相談窓口についてこのアンケートから初めて知った。
167	そんな機関があるとは全く知りませんでした。もう少しPRをしていただきたいと思います。
168	たぶんこの救急電話相談については、いろんなところで紹介されていたと思うが、こっちに関心がなく必要性も感じなかったの、目につかなかったのだろう。いのちの電話にしても、辛いことがあってはじめてこういう電話があることに気づいた人がいたので。その人は電話して救われたと言っていた。 私は、胃痛の持病があり、通院しているが、救急電話相談についてのポスターとか病院で見たことがなかった。駅、ショッピングセンター、病院や薬局、郵便局とか銀行にポスターやチラシがあれば気がついていたらかもしれない。
169	たらい回しにするのではなく対応できるところを紹介して下さい。
170	チャットがあまり馴染みがなく救急時に適切に使えるとは思えないのでやはり個人的には電話相談を使うと思う
171	チャットで相談できるのは便利そうな気がする。デモ用があれば、ぜひ試してみたい。
172	チャット式に相談できるのは聴覚障害者の方もとても助かると思う。 でもそういった情報が必要としている人のところまで届いていない気がする。 例えば聴覚障害者協会や子供が小さい親の方(スマホ世代)の多い幼稚園、保育園などにチラシや資料を配布するなどの工夫が必要かと思う。
173	チャット式体験出来るようなイベントがあるとよい
174	ちゃんと受け入れ可能な病院を紹介して欲しいです。 紹介された病院は患者を受け入れて欲しいです。
175	ちょうど先日、お向かいのおばあさんが「具合が悪くて救急車を呼ぼうか迷って呼ばなかった」と話していました。おばあさんは、とても社交的で、地域の集まりなどにもよくご友人と出かけています。けど、これを知らないと思います。そして、迷惑をかけたくないと躊躇すると思います。そのあたりの周知と、心理的ハードルの下げ方を考えると良いのかと思いました。
176	ツイッターを利用して欲しいです
177	データ通信のみのスマホでも無料で利用できるようにしてください。
178	テレビコマーシャルや番組で取り上げてみては？
179	テレビで知らせる
180	テレ玉でCMを流して欲しい
181	どうやったらAI救急相談を使えるのか知りたい。とても心強いので、ありがたいシステムだと思う
182	どこまで相談に乗って貰えるか分からないので利用しない。救急車をできるだけ使わせないのでないかとの不安がある。十分な認知がされていないので不安である。
183	どちらとも使ったことはないですが#8000小児救急電話相談は使用したことがあります。不安な時にまずは相談して冷静に判断してもらえるのはありがたいです。救急車にラッピングしたり、携帯にすぐ登録してもらうように携帯ショップに働きかけるなどどうでしょうか。これでとりあえず呼ぶというような無用な救急車の利用が減るのはとてもいいことだと思います。
184	どちらの存在も知らなかった。TwitterやLINE等、埼玉県関連のSNSで告知があれば、知る機会があるかもしれない。今回このアンケートで知ったので、詳細を調べてスマホに登録しておこうと思った。
185	どちらも全く存じ上げません。我が家であれば新聞に折り込みチラシが入っていると目にとまるかもしれませんが、県の広報誌にも載っているのかも知れませんね。あまり丁寧に目を通していないことに反省します。 このような電話で相談に乗ってくださる試みは助かると思います。

186	とっさに電話使えるか不安だ。 もっと簡単明瞭な番号が良いです。
187	ドラッグストアなどで名刺サイズほどで袋詰め台のところに置いてほしい
188	とてもいいことだと考えています。救急車の適正利用につながると思います。
189	とても良いしくみだと思います。行政で発行の広報誌やテレビなど様々な媒体で広めてもらえればと思います。私も何かの時に電話したいと思います。
190	どのようなことを相談するところなのかをもっと広めていただきたいです。
191	どのような機関・仕事内容なのか全く知りません。大丈夫なのか不安になりました。
192	どのように使って良いか分からない。
193	どのように周知しているのですか？
194	どんな方法であれ、病院へ行く前に相談できるツールがあるのは良い事だと思う。
195	どんな優れた制度を作っても、多くの県民に知られていなければ典型的な「仏作って魂入れず」になる。テレビを見ない人にも、新聞を読まない人にも必要な時に直ぐ頭に浮かぶようでない、知っている一部の人の利便になるだけで税金を使う意味がない。私が知らないくらいだから多くの県民は知らないだろうと思う。県だけで取り組むのではなく、市町村とも連携して、110番や119番のように県民の頭に直ぐ浮かぶようにPRに務めて欲しい。
196	なし(わからないことばかり)
197	なにも知らなかった
198	なんとなくは、そういうものがあるかとは承知していたが、もっと公報すべき。
199	なんとも理解できないアンケートだった
200	ネット新聞なので埼玉県広報等で知らせたのでしょうか、新聞も見たこともないのでTVで埼玉県のAI緊急相談の実態を見たいものです。
201	ハイテク時代、ついていけるか心配だけど利用しないではないかと思っています。
202	パソコンや携帯の使い方が良くわからない年寄りにはAI救急相談は難しいです。また、県下に在住の外国人などへの配慮はもっともっと必要だと思う。県内に在住する時など(住民票登録や自治体に住んだ時など)緊急対応の詳細内容は周知しているだろうか？疑問に思う。
203	ペット(犬)を対象とした窓口もあつたら将来大変ありがたいなと思っています。
204	ホームページを読みましたが今一内容が理解できませんでした。 例題も一緒に掲載してもらおうとよかったです。とくにチャット？
205	ポスター関係を一度も見かけたことがないので、ポスターによる広報活動があるといいな、と個人的に思いました
206	ほとんど知りませんでした。救急の相談ができることが…！
207	まさに今展開されている選挙の時などに、関連資料に記載するのはいかがでしょうか？
208	まず、全然知らなかったです。 利用方法やどんなときなど何も解らないので、色々な所で、お知らせを期待します。
209	まずは公共の施設などで周知徹底する必要があるように感じる。
210	まだ、救急を利用する事態に遭遇してませんが、いつそのような場面になるかわからないので、相談窓口の電話番号は登録してあります。 緊急時になったら、電話相談してみようと冷静になれるか自信ありません。 #7119は知らない人が多いと思います。 広報紙によく載せてください。
211	まだその時が来ていないので解りませんが、その時が来たら相談したいと思います。
212	まだまだ知られていない。 広報紙、チラシ等で広めるべきと思います。
213	まだまだ救急相談を知らない方々が多くいるので、告知を多くして、広く一般に知らしめることを希望します。地区単位、町会単位等に消防署員および、担当の役所の職員を派遣して説明することも一つの方法だと思います。
214	まだまだ県民に伝わっていない。あらゆるチャネルでの広報活動が必要。病院での置きチラシはやってますか？見た記憶がない？
215	まだまだ知らない人も多いのでsnsなどを使って広めて欲しい
216	まだまだ電話相談やAIを使えるのを知らない人が多いと思います。これからも広めてもらえたらと思います
217	まだ救急相談はした事は無いが、今後は、いざと言うときは利用したい。

218	まだ県民の認知度は低いかと思しますので、更に県・市町村広報誌やHP、街宣車等を活用し、そのPRを徹底してほしい。
219	まだ周知が徹底されていない気がします。
220	まったく知らない。広報に問題があるんじゃないかな？
221	まったく知らないのは自分の責任か？ それともみんなが知らないのにこんなところで公開しています。と言っている役所の責任か？ちなみに私は全く知りませんでした。
222	まったく知らなかった
223	まったく知りませんでした。 広報活動やっていらっしゃるのでしょうか？ 私の不勉強かもしれませんが……。
224	もう少し、地方公共団体が、宣伝して欲しいです。
225	もう少し啓もう活動をしっかりやって周知させた方がよいと思う。
226	もう少し周知した方がいい。 しかし、周知するなら、それなりのレベルの答えが出来る人でなければ無駄です。
227	もう少し宣伝がほしい
228	もっと 周知してくれないと わかりません 初めて聞きました また 救急なのに 電話対応が 看護師は 不安ですし いやです 医師で あるべきです 看護師は 看護のプロで 医療のプロではありません 勘違いが 甚だしい!!!
229	もっとAI救急相談を宣伝してください
230	もっとPR、県民に浸透させてください！ 私だけでなく家族全員が知りませんでした。 よろしくお願いします。
231	もっとPRが必要と思う。役所や病院、学校などの入り口に大きなポスターを貼るとか、SNSを有効に使うとか…。
232	もっとPRしてもらいたい。
233	もっとPRを
234	もっとPR活動をしていただいたほうが良いと思います。まったく知りませんでした。
235	もっとPR宜しくお願いします。
236	もっとその存在を周知すべき
237	もっとポスターやチラシなどで県民に広報してください。
238	もっとマグネットやチラシなど配布してほしい。
239	もっとみんなに広く伝えられるといいと思う。埼玉県の広報は、回覧板でまわってこないのを目にする機会がないから、県の情報はなかなかわからない。
240	もっと県民に知れ渡るよう広報をお願いします。
241	もっと広くPRする必要があると思います。
242	もっと広く宣伝したほうがいいと思う。
243	もっと広報してください。
244	もっと広報活動が必要な気がします。
245	もっと広報等で広めてほしい
246	もっと周知してください
247	もっと積極的に広報活動して欲しい。
248	もっと宣伝してほしいです
249	もっと宣伝すべき。
250	もっと宣伝すべき。ラジオなどを使ってコマーシャルしてみればよいと思う。
251	もっと存在をわかるようにアピールしてください。
252	もっと知名度を上げるため、いろんなところに広報活動を広げるべきだと思う。
253	やっぱりAIより人がいい。
254	よいシステムだと思います。
255	よいと思いますが、認知必要ですね。知らなかったの、いざというとき使えないです。
256	よくわからないのでPRが今後必要に思う、お願いしたい
257	よくわからないので説明をお願いしたい
258	よっぽどでないと消防車の救急車の手配をすぐ行うと思う
259	わからない

260	わかりやすい場所にわかりやすいポスターがあるといい。 必要のない時は目に止まらないので、緊急時に思い出せるような工夫を。
261	んー、打つぐらいなら直接話した方がニュアンスとか声のトーンなど分かりやすいと思います。ただ、耳の聞こえないかたやお話しできないかたにはとても良いと思います。
262	安易に119番の利用をしないように相談窓口があることを常に広報してほしいです。その一方で電話相談に電話した際に長時間待たされたりしないようにすることも大切だと思います。広報については、医療施設などの会計のレシートでの呼びかけ・お薬手帳の表紙やお薬の袋への記載・自治体の広報と一緒に保存版で掲示できるようなチラシを配布する・テレビでのコマーシャル・・・などしてみてもいいかでしょうか。
263	以前、家族が強い腹痛を訴え地域の緊急対応の医療機関に電話したところ、待たされたあげく、期待に反して救急電話相談窓口で電話するよう案内されました。苦しんでいたのが早く対応が必要と考え、近隣の医療機関に相談し引き受けてもらい症状は落ち着きました。結果、案内された電話相談窓口には連絡をせずに済みました。広報には受付から対応の流れなど安心して相談できるよう、わかりやすく解説して欲しいと思います。
264	以前、日赤の救急法のボランティアをしていた。一般に向けて救急法について相談できる機会が提供されていることは大変良いと思います。
265	以前はこういう制度が無かったので加入している健康保険の相談室に電話しました。広く掲載・提示していただいたほうが良いと思います。一層の認識向上が必要だと思います。
266	以前電話だけかけたことがあったが「混みあっています、少々お待ちください」と応答。いざ救急の事態になったとき不安があります。特に夜間、深夜。
267	以前電話で相談したが、繋がりにくかった。 夜など必要な時に、診療中の病院と対応出来る診断をインターネットで公表して頂ければ、電話相談を経由せずに病院に連絡出来て良いと思う。
268	意外と知らない人が多いです。電話番号などのPRがネガティブに映ります。本腰を入れて仕事をなさってくださいね。県民のために。
269	意見ありません。
270	医師会と協力関係にあるならば、医療機関でポスター掲示やリーフレット・カード配布で協力してもらったらどうか。特に、携帯できる電話番号付きのカードは有効だと思う。
271	医療機関にチラシを置く。献血時にチラシを配る。
272	医療機関を探し出しただしてもらえただけならば、AIで十分だと思いますが、症状について相談してもらえたら、適切に判断・対応していただくためにも人間のスタッフにやっていただきたいなど、いち利用者としては思います。命に関わることはAIには託したくないです。
273	一人暮らしなので、緊急で医療が必要なときは、ゆとりがあれば医療機関に電話で相談するし、なければ救急車をよぶと思います。救急相談をする場面が思いつきません。医療情報ならば信用できそうなHPを探したり、本で調べます。自分で調べても迷うときに相談してもいいのでしょうか。
274	一人暮らしの高齢者が増えている昨今、何時もお世話になるかの時のために日頃からしっかり勉強しておきたいと、感じた。パンフレットなど作成して、家の中に下げておきたい。
275	一度でも利用経験がないと存在すら気づかない。 「これって何科？」はだいたい内科で聞きがち。
276	一度救急車を呼ぶかどうか悩んだときに使いました。(悩みましたが病院に電話をして相談し、結局救急車を呼びました) お返事をする方も判断が難しいと思いますので、AIはよいと思います。
277	一度試してみたい。
278	引っ越したばかりでよくわからず、夜までやっている病院を教えていただけるととてもありがたかったのですが、とてもひどい対応で、また別の病院へいけなくなりました。 怪我だったため、早急の治療が後々響くと思うのですが、ひどいところは今後紹介しないでほしいなど、意見をいえるところがあると参考になるような気がします。
279	浦和とか、大宮など県庁所在地エリアでは、極めて有効なシステムと思うが他の地域の県民にも役立つように考えていただきたい。
280	駅ナカでポスターとかツイッターで周知かテレビで番組作るとかとにかく利用者が多いところで目につくように広報したほうがいいのかと
281	駅や学校などの公共施設に継続的にポスター等を出すなどすれば目に止まりやすい。
282	駅や公共の場で大きくアピールしてほしいです。 学校などでも子どもにパンフレットの配布などがあると家庭でも認知度が上がると思います。広報誌にはさまっているようなチラシだと見ない気がします。
283	駅や広報で表示するといい
284	駅や電車、病院に広告があると良いと思います

285	仮に利用したいと思った時になっても、実際に電話をする段階になると躊躇することがあると思う。「救急電話相談」や「埼玉県AI救急相談」について、県や地方自治体が、定期的に公民館や市民活動センター等の公的施設で「説明会(質疑応答)」を開催し、県民に「利用しやすさ」やこの制度への「親しみやすさ？」をPR(広報活動による周知徹底)しておくことも大切だと思う。
286	何かあったら、救急相談をしている時間に、救急車を呼んでしまうと思う。事例を大きく分かり易く説明して欲しい。
287	何かで見かけたかも？のレベル。たとえばマグネットシートみたいなものを作成して1世帯1枚くらい配ってくれると『いざ』というときに番号がわからなくて使えないとか相談出来る先があったなとか思い出すきっかけになると思う。
288	何かと安心させてくれる。もう少し詳細な回答を期待したいが？
289	何も知らない自分が恥ずかしいです。何処に行けばその情報を得ることができるのでしょうか？
290	何も知らなかった。毎月配布される埼玉県の広報誌に、相談電話番号を記載したシールなどを折入れ、積極的にPRしてほしい。
291	何故知らないのかわからない。兎に角患者ファーストで進めてほしい。
292	何処に連絡をすれば良いのか何を相談出来るのかもっと浸透すると良いと思います。
293	家族(高齢者)の容体が急変したとき、なるべく自宅からの搬送時間が短い医療機関で、診ていただくのが安心です。救急車を呼ぶと、真っ先に救急救命センターに搬送されることがあり、搬送時間が40分以上の距離になると、急病人の容体が心配になります。救急車を手配しても、その時の医療機関の状況次第では、受け入れ先が見つからない場合があります。常日頃、急変した場合の対応をかかりつけ医、地域包括支援センター、ケアマネージャーさんと、話し合っておくことが大切だと思います。
294	家族も知らないといっていたので周知徹底が必要かと思えます
295	家庭の電話機の近くに貼るステッカーを配布して欲しいです。
296	画像を送信して見て判断してほしい。
297	まわりでまだ知らない人が多いようなのでもっと利用してもらえるように(救急車の適正利用にもつながるように)広報活動に力を入れたほうが良いと思います。とても良い有難い制度だと思います。
298	回答に、相談機関の存在を知らなかったので番号の控えがなかったと書き込んでもクリアされるので、ここに書きます。最近の事で、病院が休診の時に、緊急を要するのかが知りたいと思った症状はあったので、対処の仕方が相談出来るのならば利用したい。
299	回覧板等で知らせれば効果あると思います。
300	改めて知ったので、もっと情宣すべき
301	各医療機関へのポスター掲示、夜間救急で病院やクリニックの代表電話にかけたら、すべて救急電話相談に転送されるぐらいのことはしてもいいと思う。
302	各家庭に告知ステッカーの提供
303	各市の広報などに載せて広く知れ渡るようにすれば良いと思います
304	各市町村で行われている、乳児検診や健康診断、予防接種の時、保険センター、市民センター、児童館へのチラシの配布、市町村の広報誌への毎回の掲載依頼。妊娠時に貰う手帳への記載。自治会の回覧依頼など、どうでしょう。
305	各市町村に休日、その時に行ける救急対応病院をおいて欲しい。となり、その隣の市町村を案内されても遠くて行けない時があったから
306	各新聞に枠を設け、提携でいいので、繰り返し広報する。例えば、休日の当番医のリストのような地方版の小欄でよい。
307	各分野の情報はいち早く知っているつもりですが、今回のアンケートに関することは知りませんでした。広報不足を強く感じます。県HP等の周知だけでなく、各家庭への資料配布が必要と感じました。
308	学校で教える
309	学校で子どもに配布する。
310	学校などからの手紙で、使用方法や電話番号などを配布すると広く周知できると思います。
311	学校などでももっとアピールすべき
312	学校のお便りなどで詳しい内容を配布して欲しい
313	活用したい。周知する工夫を是非とも行って下さい。
314	看護師の負担が増す。当相談は医療従事者の<働き方>改革に逆行しないか。
315	機械的な定型化された回答と印象だったため、もう少し不安な気持ちに寄り添った回答をいただきたいかったです。
316	気軽に相談できるのは、とても良い事です たくさんの人に知ってもらって、利用してもらえるの良いですね

317	気軽に相談できる所は、ありがたいです。
318	休日当番医の照会は便利かな？と思ったが、その他の相談はあまり有意とは思えなかったの で、あれこれと手を広げるのではなく、的を絞ったサービスにシフトした方が良い。
319	急な病気やけがで救急車を呼ばず、病院にも行かず、電話相談だけで済むケースはどれだけあ るのでしょうか？外出先などでどうしていいかわからない場合なら役に立つかもしれませんが、そ の趣旨と目的がよくわかりません。
320	急病などで困らないとなかなか言う窓口について確認する事が出来ません。 と言う窓口が書かれた冷蔵庫等に貼るステッカーがあればと思います。
321	急病になることは誰にでも起こる可能性があり、いつ起こるかわかりません。とっさの時に行動で きるように「救急電話相談」や「AI救急相談」のダイヤルの仕方等が書かれたカード(またはマグ ネット)を配付し、すぐに見られるようにしてもらおうとよいのではないのでしょうか。
322	急病の時は、119、110番だけでいいと思います、余り連絡先が多いと余計に混乱すると思 います。
323	救急だったら救急車を呼ぶのが普通かと。相談している場合かなー。 普段から知れ渡ってないと思う。
324	救急に関する電話窓口は1本化して欲しい。 緊急事態には慌てるので、窓口は簡素化するべきだと思います。
325	救急時に助けていただける大切な番号なので、家族皆が認知できるよう、みんながいざという ときにわかるように周知しておきたいと考えています。電話機のそばに掲示する、救急箱にメモ をいれておくなど、知っておきたいと思います。
326	救急時は動転しているので、人とのやりとりが必要
327	救急車、有料でも良いとおもう。 病院の診察等で料金を決める。 トリアージみたいなもの。
328	救急車だけでなく、消防車全般に掲示してみてもどうでしょうか。
329	救急車で夜中でも病院に行った方がいいのか……。朝まで待って診察を受診した方がいいのか 電話した事があります。慌てているこちらに対して落ち着いた声で対応していただき安心しまし た。救急車の過剰利用の対策にもなるのでは？
330	救急車の出場状況に関しては、市民同士の争奪戦を思わせる位にひっきりなしに出場してい て、通報をしてもすぐに来てくれない(PA連携の消防車は先行して来てくれる)状況です。 その環境を改善する一つの方法が救急相談だと存じ上げますが、(昔は救急車を呼ぶのに抵抗 があり、よっぽどの時にしか呼ばなかったですが)現代人においてはモラルが無いので、救急搬 送有料化・必要性が全くないのに救急車を呼んだ場合には罰金を取る等全国に先駆けて防災へ り救助有料化に踏み切った埼玉県として、条例を作り実践していただきたいと思います。
331	救急車をタクシーのように考えている方がいると聞いたことが有ります。 必要な方が使えずに困るようでは、と、思います。 なんでもかんでも救急車を呼ばなくても対応出来る事は自分でやるようにしたいものです。
332	救急車をタクシー代わりに使う非常識な事例があるので、この程度の症状で救急車を呼んでい いのかブレーキをかけてしまう。救急電話相談を使っている時間があつたら、すぐに救急車を呼 びたい。軽症だと思って夜間に自家用車で病院へ連れて行ったら、未明には危篤状態になつた ことがある。広報するときに、救急車を呼ぶことにブレーキをかけさせない工夫もしてほしい。救 急電話相談からすぐに救急車を呼べるようにしてほしい。
333	救急車をタクシー代わりに使っている人がいる。 その様な人には目に入らない・耳に入らない。
334	救急車を簡単に呼ばないというとりくみはもっと大きく広報して欲しい
335	救急車を気軽に利用してしまう高齢者に周知出来れば良いと思います。
336	救急車を呼ぶというのは迷ってしまうけど、とても具合が悪い時相談できるというのはとても心強 いです。知る機会がなかったのですが、広報などにのっていたのでしょうか。
337	救急車を呼ぶのに躊躇してしまう人もおります。「必要性」を聞けるのがとても良いと思います。 既にやっているかもしれませんが、ラジオCMや、youtubeでの広告も良いかもしれません。あとは Twitterでバズるのを狙うとかですかね。ニュース番組で特集を組んでもらえたら大きいかもしれ ません。行政の広告って難しい。
338	救急車を呼ぶより、かなり利便性がよいと思われる。ただ、知るすべがなかったのので、広報などを チェックしたい。
339	救急車を呼んだほうがよいのか迷うことがあるので、ぜひ推進して行って欲しい。
340	救急相談についてはもっと身近な市町村の機関にコンタクトするのが普通だと思ってきたが わ ざわざ県としてそのような窓口を設ける必要があるのだろうか 私には疑問だ。
341	救急相談に様々な取り組みをされていることを認識したが、認知度を上げる施策を行ってほし
342	救急相談のことを知りませんでした、いざという時にとても頼りになりそうですね。

343	救急相談の存在をもっと広く伝えて欲しい?
344	救急相談はあるととても助かると思いますが、どのような状態で対応してくれるのか?? 誰もがわかりやすく、相談できるシステムを期待します
345	救急相談をここまでがんばってるのは知らなかった。一人暮らしの高齢者がスムーズに使えるように、複数の人からの声掛けが必要だと思う。
346	救急相談をしても結局当番医を案内されただけだと聞いたことがある 119番通報一本化する方法や、常に気軽に相談できる環境づくりが必要と考える
347	救急相談をする。ということは何かあったら今後はする。もっと広く回覧板とかでおしえて欲しい。 ほとんどの人は救急相談することは知らず生活していると思います。
348	救急相談自体は新橋のニュー新橋ビルにポスターが貼ってあるのを見て知っていましたが、埼玉県など自治体が個別にやっているとは知りませんでしたし、埼玉県のものは知りませんでした。良いものなのでもっと広報してください。
349	救急隊が使っている、救急車受け入れ状況システムを簡易化して見られるようにして欲しい。そうすれば、混雑緩和もできるし、対応可能診療科目もわかる
350	救急電話があることを知り、安心した。
351	救急電話のこと・・・良い勉強になりました。 今は健康ですが、高齢のため いつ必要になるか・・・ 救急車を呼ぶ前に・・・電話しましょう。
352	救急電話相談、AI救急相談の利便性や安易な救急車要請減のため、NHK首都圏ネットワークなどの番組で取りあげてもらおう仕掛け(話題性)を企画する。紙媒体よりも映像媒体(TV)が年輩者には効果的。若い方へはスマホなどで簡単に使えるアプリなどの提供はどうでしょう?コバトンにチラシ配布してもらおうとか・・・。
353	救急電話相談、AI相談については、まだ知らない人が多い。 自治会ベースのチラシ、ポスター等でPRを徹底したらどうか。
354	救急電話相談で救急車の必要はなく、自力で外来を受診すると言われ、周りからも助言したにも拘わらず救急車をよぶひとがいる。
355	救急電話相談とAI救急相談の両方とも知りませんでしたので、今後は利用したいと思いました。
356	救急電話相談というのがあることを知らない人が多いような気がする 利用方法などをもっと告知してほしい
357	救急電話相談の位置づけが不明確!また、AIでどのような相談が出来るのか全く情報がないので全く分からない。
358	救急電話相談もAI救急相談も大変重要なことだと思います。高齢化社会になって来た現在、突然発生する事案について、簡単で早急に相談出来る窓口が重要になるので、その使い方内容について、地道に周知徹底して行くしかないと思います。よろしくお願いします。
359	救急電話相談やAI救急相談があることを知りませんでした。お子さんを持つお母さんにとって非常によいサービスだと思います。 これらのサービスを多くの方々に知らせることが大切だと思います。広報の重要な役割です。
360	救急電話相談やAI救急相談についての広報に力を入れるべきだ。
361	救急電話相談やAI救急相談を知らなかった。何処でどのように運用されているのか、内容はどのようなものかを調べてみます。
362	救急電話相談やAI相談の存在は知っているものの、いざという時に思い出せる自信がない。 また小児救急相談8000に掛けた時はネットで調べた程度のこと(様子見)しか回答されず、あまり役に立った印象がないので、具体例とともに紹介されていると良い。
363	救急電話相談を利用する前にまずは救急車を呼びます。
364	救急電話相談等は未だ使用経験はありませんが、非常に便利だと思います。急病及び怪我等は救急車を呼ぶ必要はあると思いますが、通常の病気の相談には非常に便利だと思います。
365	共通ダイヤル#7119の番号知らない人が沢山いると思います。
366	緊急のことなら、消防か主治医に相談する。
367	緊急のときに利用したいと思う。
368	緊急の場合は、電話相談が出来れば大変心強い。慌てるので、どの科にかかるかのアドバイスが助かる。また、日頃疑問が生じた場合は、AI救急相談があると参考になる。この制度の周知を広報などで広げていただきたい。
369	緊急を要するために相談したいので、相談結果によっては相談先に電話回送などもやってもらえれば助かるのではないかと
370	緊急を要するとき#7119を使うときは有ってもAI救急相談を使うとは思わない。AIはむしろ救急を伴わない一般的な症状を相談するのに向いているのではないかと
371	緊急医療機関の充実も必要ですが、市町村の広報だよりなどを含積極的な広報活動も必要なことではないでしょうか。

372	緊急事態と思われる時は救急車くらいしか考えていなかったで、こういう制度が有ることを全然認識していなかった。救急の時に果たして電話相談をしている余裕があるかどうか一寸疑問。
373	緊急時の対応が安心して行われるよう啓発活動を今後ともよろしく願います。
374	緊急性が有るときに、チャットで相談は出来ない。 使用してもらわないと無駄なので、広く知ってもらえるよう、広報などでお知らせして、利用してもらえるようになると良いと思う。
375	緊急電話の電話番号一覧表が欲しい。
376	緊急電話相談・AI緊急相談はどのような場合に利用するのか、利用例を広報等に分かり易く記載されているべきと思いました。
377	緊急電話相談について、県公報等は、情報を得るために、注意して読んでいますが、目にふれる、耳にすることが、少ない。 県民に、PRする機会を増やして欲しい。
378	緊急電話相談の事はよく知らなかったで、意識していない人にも周知出来るように広報活動を見直しすると良いのではないかと思います。 例えばSNSを活用するとか、県内の病院のホームページに広告を載せてもらうなど。
379	緊急電話相談知りませんでした。 365日24時間相談に乗ってもらえるのでしょうか？ 実は休日に怪我をして当番医も見つけられず直接救急車を呼びました。もし何かあった時には利用したいと思います。
380	啓発、告知活動が必要だと思います。(全く知りませんでした)
381	繋がらないと緊急時無意味
382	警察への相談(#9110)は知っていましたが、救急相談は今回で初めて知りました。 公共施設や医療機関などで目にする機会が増えれば、相談をしやすい環境に近づくのではと思います。
383	軽症の人が救急車をよぶのを防ぐためにとてもよいと思います。また、プロに電話相談することで落ち着いて行動できるので、電話相談を広めてほしいと思います。
384	健康でお医者さんにかかったことがなく認識不足でした。 一人住まいですので、今後は相談できる場所があっただけでも有り難く思いました。一人でも多くの皆様が知ることが大事と気がきました。
385	健康な高齢者や乳幼児家族を中心に、いざの時電話相談できる知識を持つ為、小冊子等を作成配布も必要ではないかなと思います。私のように自己管理を強いられている人は少数派だと思いますので。
386	県・市などの広報誌で色付き題字など目立たせる(思わず目を引く)ような表示の方法が必要と思う、広報されていたんだと思うが記憶に残っていませんでした。
387	県AI緊急相談については、県広報誌等で掲載されたのかもしれないが、まだよくわからなかった。行政センターにポスターを張るなど、もう少し分かり易い形でPRしてもらえたら有難い。
388	県が そこまでやる必要があるの？
389	県の救急電話相談は大変心強いです。 AIは初めて知りました。 夜間は限られた医療機関しかないが、やむを得ないと思う。何でも24時間化し、個人の都合で夜中でなくても受診しているケースが多分にあると思う。県はいくつかの拠点病院を指定し、夜間はそこに集中させればと思います。
390	県の広報とともに市の広報にも何度も啓蒙のために知らせるとよい
391	県の取り組み存じ上げず恐縮ですが、今後は、更なる勉強をさせて戴きます。秋に向かって益々県民への広報等宜しく願います。
392	県は市に比べて遠い存在なので本当に役立つ情報が得られるのか心配だ(利用したことがないため)。市には同じ相談のサービスがあるのだろうか？お産の時も、ぎっくり腰のときも119番通報したが、それと比べてどのような違いがあるのか、メリット、デメリットがわからない。
393	県や市の広報に、継続的に掲載して欲しい。
394	県や市町村の広報誌、ホームページや人が多く利用する駅や、スーパー、ドラッグストア等の店など目につきやすい場所で周知をしてはどうか。
395	県救急電話相談や埼玉県AI救急相談は県民にそれほど周知されていない気がする。 私の意見は県民各家庭に電話番号を大きく記したパンフレットを配布はどうでしょうか あるいは後期高齢者になった人に配布するとか
396	県固有の機能では無いので全国的な宣伝が必要だと思います。適正ならACジャパンなどで、まず周知する事も必要です。
397	県広報誌でのPRを期待します。キャッチコピー等。

398	県政広報報などは毎回丹念に読んでいますつもりですが、残念ながら埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談があることを知りませんでした。 県報や多くの人が集まる駅や郵便局などへポスターを掲示するのも良いのではと思います。
399	県知事選のPRみたいに、SNSで宣伝すれば効果的なのでは？
400	県民だよりや広報で載せてもらえば、緊急相談の内容がよくわかる。
401	県民に認知され普及すると良いですね。
402	見たことも聞いたこともありません。 だいたい、埼玉県の「広報」って、発行しているのですか？ 税金を使って、県民に配らないというのは、間違っていないですか？ そもそも、新聞を読んでいない人は、埼玉県の「広報」を、読まず価値がない！ などという考えは、間違っています。 各区や市の配布方法に従って、配ってください。 そうでないのなら、税金の不公平な使い方は、やめてください。 埼玉県の「広報」は、廃止にして、税金を安くするのも、一つの方法です。
403	現在のところ病気・怪我等もないので万が一の事を考えて知識不足を解消するように心掛けて行きたいと思います。
404	現在まで幸いに利用する救急事態が発生しなかったが、高齢化に伴い利用することになると思うので、この救急相談の利用方法、内容等、具体的に理解を深める様に考えている。我が家の居間には、このパンフレットを掲示してあり、家族の周知を図っている。今後更なる高齢化社会に対応する救急医療の主要策として、県や市町村自治体の一体化した周知徹底を推進して欲しい。
405	現時点で救急にお世話になる機会が無かったので関心がなく全く知ろうともしませんでした。
406	個人情報管理の徹底及び相談者にとり、最善策を案内してほしい。
407	孤独な高齢者が増えています。このような制度が必要です。民生委員を通じて高齢者に通知したほうが良いと思います。
408	公社、病院、学校でポスターをみました。具体事例などが載っていると身近に思えるかもしれま
409	効果的な活用事例を県のホームページ・市町村の広報誌などでPRしてほしいと思います。
410	好い取り組みだと思う。上田県政のこんなやさしさは継続してほしい。
411	幸いなことにそのような相談の必要がなかったのが感心が薄かったのかもしれませんが この先何があるか解りません 必要な事態があった場合利用してみたいと思います
412	幸い急病やけがもなくきましたが万一の時に相談できるのは心強いと思います。
413	広報だけではなく、毎日市役所から流されている防災放送や、小学生の下校時に流される見守り広報時に合わせて放送すればより認知されるのでは
414	広報で、大きく載せたほうが良いと思います。
415	広報で見ても、使う機会がなければ忘れてしまう。防災無線で、子供たちの声で月に一回くらい、刷り込みのための一言「病気やケガで迷ったら、#7119か、AI救急へ相談しましょう」と言ってくれば、ふと記憶しなおすと思う。
416	広報などで特集を組んで取り組みや成果をアピールしてください
417	広報などに毎掲載せて(もう載せているならすいません) 広く知らせるべきかと思います
418	広報などはよく拝見しているのですが、見た記憶がないので周知徹底のためもっと広報に具体的に載せてくださればいいのですが…。
419	広報の一面など、見立つ場所に掲載してください。AI救急相談はどの様なものか興味あるのですが、AI対応がどの様なものかいたずら電話が増えないことを祈ります。
420	広報をもう少ししてほしい
421	広報一応見てるつもりだが、何で知らないんだろう？ 周知されるまでは、毎回広報に載せるべきではないでしょうか？いざという時に、あれ？何番だっけ？どっか書いてなかったっけでは意味がない。高齢者世帯には、マグネットで冷蔵庫に貼れるようなものを提供するとか。以前消費生活相談室の電話番号を貰ったけど、この際みんなまとめてみたらと思う。
422	広報活動がうまくできていないような気がします。
423	広報活動が足りないのでは。
424	広報活動の推進をお願いします。
425	広報誌と一緒に、まんがなどを使用して分かりやすく説明したものを配る
426	広報誌などで紹介してほしい。
427	広報誌はよく読んでいますつもりでしたが、知りませんでした よくみたら、最後のページに書いてありました 一度、特集をくんでみたらどうでしょうか？
428	広報他で告知、知らせてほしい、ベツチランにて配布 医療後進県として大事だ

429	広報不足。市の広報誌は毎月読むが、みた記憶がない。毎月載せるようにしたらどうか？
430	行政サイドでもっと啓蒙活動を積極的にPRしてもらいたい。
431	高齢化社会と呼ばれかなりたちましたが、お年寄りの無駄な救急車の利用なども沢山あると思います。ニュースなどを見ている、怒りやすいお年寄りの方や非常識なお年寄りの方が増えていような気がします。そういう方に如何に電話相談や救急相談を知ってもらえるかが重要だと思います。119が頭に刷り込まれているような気がして、相談にまで行き届かないのでは？
432	高齢者にも届くPR方法を社協のサロン経由とか、行政が発行する高齢者福祉サービス冊子などにも掲載してほしい
433	高齢者夫婦なので これからお世話になることも有るかと思ひます このアンケートのお陰で 詳しく知ることが出来ました その意味でも アンケート参加者が増えると良いですね
434	告知を知らなかった
435	今の処、幸いにも自分の周囲でも緊急の事態に迫られる様な事態に遭っていないので幸いと思
436	今は必要なくても、何があるか分からないので、このアンケートで知ることが出来て良かったです。あまり知っている人がいないと思うので、市の広報で毎回紹介してもいいのではと思います。
437	今まで、救急車を呼ぶような緊急の医療の必要性がなかったもので知らなかったというのが実情ですが、今後活用の機会がある場合の情報として認識いたしました。
438	今まで幸いにもその必要性がなかった。
439	今まで知らなかったので心強く感じ電話番号を記録しました。
440	今回、埼玉県A I 救急相談を知りましたので、ネットで検索して、今後のために体験して行こうと思ひます。
441	今回AI 救急相談を知ったので、何かあったら是非使ってみたい。
442	今回これらの制度を知りました。
443	今回で知りました、今後は使いたいと思ひます。
444	今回のアンケートで、初めて県による救急相談制度があることを知りました。2人の子供が家を出て自立していますので、この制度の存在をすぐ教えます。
445	今回のアンケートでこのようなシステムがある事を知りました。
446	今回のアンケートではじめて救急電話相談やAI救急相談のことを知りましたが、多分私だけではないと思ひます。もっと積極的に情報を伝えて頂けたら幸いです。
447	今回のアンケートで初めて存在を知りました。もう少し勉強します。
448	今回のアンケートで初めて知りました。せっかくのいい制度なので、広報の充実を望みます。
449	今回のアンケートで初めて知りました。もっとポスター等でPRしたほうが良いのでは。
450	今回のアンケートで初めて知りました。全然聞いたこともなかった。
451	今回のアンケートで初めて知りました。広報が行き届いていないように思ひます。いい制度だと思ひますので、大々的なPRが必要ではないでしょうか。
452	今回のアンケートで知ったが、普及させるべきサービスだと思ひます。特に相談者が近くにいない実家から離れて子育てしている人や、すぐに医者に行きにくい高齢者世帯などでよいと思ひます。また、医者にかかりにくい海外への旅行者にもよいと思ひます。
453	今回の電話相談は、まったく知らないものでした。公報活動が、必要だと思ひます。
454	今回は知らない用語があった。そうした溝をなくしていきたいと思ひます。
455	今回初めて知ったが、安心感がある。使い方がよくわかるような広報一例えば、映像や音声で、実際に使用するところを見せる、聞かせるなどのものがあると、より分かりやすいと思ひます。
456	今回初めて知ったので心構えとして知っておこうと思ひます
457	今回初めて知りました。とても良い取り組みと思ひます。ご苦労様です。
458	今回知ったので、その際は使用する。
459	今回知り、チャットができるのはいいと思ひます。
460	今現在、緊急に相談することは無いが、いざという時のために、練習するシステムがあるといい。
461	今後、利用する機会がありましたら、活用させていただきます。
462	今後更なる啓発やPRをお願いいたします。
463	今年の2月に、父と姉がウィルス性胃腸にかかってしまいました。救急電話相談があったので、すぐに病院に行くことができて、とても助かりました。埼玉県の救急電話相談は、ピンチの時はとても心強くありがたいです。普段は県の行政って意識しませんが、この時は大助かりでした。ありがとうございました。

464	今年の春、心筋梗塞で救急車のお世話になりました。朝方から胸が苦しくなりましたが、9時に病院に行こうと着替えをし準備してましたが、症状が改善せず、自分で救急車を呼びました。病院到着後、すぐカテーテル手術を行い、事なきを得ました。ただ、病院にはこぼれる途中も意識ははっきりしており救急車を呼ぶまで、2時間ほど迷いました。電話相談を早めによければよかったかと思えます。
465	今般、初めて知りました。何かの時に利用させてもらいます。
466	最近、インターネットで詳しい病状説明があるので、まったく困らない。
467	最近新聞を電子板に変えたので県民だよりが届かない。ホームページは見られるが、自分から見に行く回数は減った。
468	彩の国だより(県広報誌)などで、県民に周知するとよいです。
469	彩の国便りは、毎月読んでいます でも、知りませんでした
470	埼玉県AI救急があることをしらなかった。救急電話相談(#7119)は、義父の具合が悪かったときに知った。 県民へのより積極的な告知、啓蒙が必要と感じている。
471	埼玉県AI救急相談 初めて知ったので、もっと詳しく知りたいと思いました。
472	埼玉県AI救急相談については、まったく知らないのでも、PRをしていただければと思います。電車の駅などの広告などもいいのかなと思います。
473	埼玉県AI救急相談に関するPRを見たことが無い。もっとPRすべきだと思います。
474	埼玉県AI救急相談はどのように市民に伝えているのか？初めて知った。
475	埼玉県AI救急相談を数多く宣伝したほうがいい
476	埼玉県AI相談そのものを知らない。
477	埼玉県AI救急相談という言葉がこのアンケートで知りました。
478	埼玉県がこのような取り組みを行っていることすら知りませんでした。 普及活動が足りないと感じます。
479	埼玉県にずっと住んでいるけど全く知らなかったのでも、マーケティングしてないとかセンスがないとか何かしら広報活動に問題があるような気がします。
480	埼玉県の救急電話相談の存在を始めて知りました。 救急車を呼んでも、病院を探すのに手間取っている状況をよく見かけます。特に夜間に急病があった場合では、病院を探すのに苦労します。これまで、医療への対応が遅れている埼玉県では仕方がないとあきらめていました。具体的な対応事例を挙げての広報を望みます。
481	埼玉県は県庁舎建て替え費用を小児医療センター建設に回したり、県民の命を守るために、非常に前向きな県であると思う。
482	埼玉県は県南へのPRが全然行われていない気がする、今までの知事のせいかな
483	埼玉県救急電話相談があることも知りません。何をするといいのでしょうか。 何に役に立っているのでしょうか。全く知りません。
484	埼玉県救急電話相談があるのは初めて知った。体調が悪くなると判断力が鈍くなるため、これから積極的に活用していきたい。また、一人暮らしの人は風邪を引いた際に頼る人が少ないため、単身者に向けて何か発信するといいいのではないかと感じました。例えば、単身者の方に入居する際、不動産業者からチラシを配布するなど。
485	埼玉県救急電話相談が存在していることを初めて知った。
486	埼玉県救急電話相談は存じていた、友人知人に紹介はしたが、私を含め緊急時対応が今までに有りません。しかし、心強い取り組みと感じていました。 埼玉県AI救急相談については、知らなかった。 生産者年齢の県民については、制度の中身を徹底(アドバイスなど)し、特に年少者の家庭には良い相談窓口と思われる。 高齢者(AIに弱い・拒否?)への浸透が課題と思われる。
487	埼玉県救急電話相談も埼玉県AI救急相談もまだまだ知名度が低いと思う。 いざという時に、わざわざネットで調べると言うことはまず無く、恐らく119番に電話をしてしまうだろう。 もしもの時に少しでも多くの人に思い出してもらえるように、例えばマグネット式の広告などを配布して、いざという時に思い出してもらえるような工夫が必要だと思う。
488	埼玉県救急電話相談やAI救急相談、その他にも埼玉県がいろいろと県民の為の施策を執行していることには評価しますが、これらの施策、県民へのどの程度浸透しているのだろうか、当事者は利用頻度等の情報は把握していると思いますが、多分、大した利用は無いと推測します。職員の方々は制度を作れば仕事完了ではなく、折角、税金を投入して行なうのであれば県民の活用方法に真剣に取り組んでほしいと思う。

489	埼玉県救急電話相談や埼玉県A1救急相談を知らなくて申し訳ない気持ちである。県民の多くの方々に理解してもらえるような広報を検討してほしい。
490	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談があることを全く知りませんでした。もし、何かあった時に便利のように思います。このことを知らない方々が沢山いると思いますので、もっとPRしては如何かと思います。
491	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談というのがあることを、今回のアンケートで初めて知りました。救急電話相談は広報紙「彩の国だより」に掲載されていれば読んでいるはずですが全く記憶がありません。また、埼玉県AI救急相談はチャット形式と当アンケートに説明が書かれていましたが、私はチャットをしたことがないので知らなかったのかもしれませんが…。
492	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談について知りませんでした。今後は利用することになるかもしれないので理解しておきたいと思います。彩の国だよりなどでも広報をお願い致します。
493	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談について今まで何も知らなかった。 県としてももっと啓蒙が必要ではないか？ 小生としても知識を吸収していきたいと思う。
494	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談のtwitterやfacebookのアカウントを取ってネットで拡散したほうがいいのかと思います。そこでこういう事例がありましたみたいに紹介していくといいと思います。救急車を呼ぶべきかどうか悩んでいた時にそのアカウントを読めばいろいろな事例が読めるみたいな感じで。
495	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談の存在を知る事が出来ました。
496	埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談は必要ないのでは。もっと県の省力化を考えるべきでは。今まで通り119番があれば問題はない気がする。
497	埼玉県救急電話相談を知らない人が多いと思う。 緊急を要するときに必要だとおもうので、存在の認知向上を図るべき。
498	埼玉県独自の制度でしょうか？知りませんでした。 県・市の広報やHPに記載してあっても目に入らないと思いますが、いざという時に利用できないことは残念です。 自治会の回覧版や、自治会の会合での紹介、防災訓練時の紹介など、もっと小さなコミュニティでのPRが必要かと思います。 ラジオCMなら耳に(記憶に)残るかも知れませんね。
499	昨年12月に目眩の症状が深夜に悪化して、午前2時過ぎに急速に体力が無くなってやっと電話まで手が届いて119番にかけて救急車を呼んで救急病院に入院することができました。救急隊員の方達と病院の救急医の皆さんの適切な措置で数日の入院で退院することができました。電話相談とかAI相談とかの話ですが、救急の場合、それができるだけ体力はありません。チャットなど無論無理です。何よりも重要なのは、救急の現場の皆さんの研修の余裕、勤務環境、待遇の向上と充実だと思います。
500	昨年でした 電話によるたらい回しでとても心細い思いをしたことを思い出します
501	残念ながら知らないことばかりです。
502	使い勝手が悪そうなので、期待することはない。
503	使い方をCMやケーブルテレビ、広報紙やテレビなどでも紹介してほしいです
504	使い方をガイド形式で提示して欲しい
505	使ったことはないが、いざ困った時に使えるツールを埼玉県が提供してくれていることに、安心感を持って生活が送れます。 これからもサービスの安定供給と継続運用をしていただけると有難いです。
506	使ったことはないが、とても心強くなる。こういう取り組みはありがたい。税金を払う価値がある
507	使用しなくてすめばそれに越したことはないが、いざという時に使用出来るようにしたいと思う。
508	子どもも大きくなり、夜間・休日の急病というのはなくなったが、対応できる病院が少なすぎるし、場所も遠い。 夜間、使わない公共施設を活用しての対応をしてほしい。
509	子のアンケートで双方とも初めて知りました。県内に住む高齢の両親が先日急に体調を崩した際にしっかりと知っていれば、もっと良い対応が出来たのではないかと感じています。Yahooなどのバナー広告など、積極的に働きかけて周知してほしいと思います。
510	子育て中です。毎日追われていて広報紙等見る時間もなく、新聞も購読していません。唯一の情報源は子育て支援センターに掲示されるポスターや市からの広報メールです。市へのお願いになってしまってもかもしれませんが、AIのことも知らなかったのも、市との連携を密にしよう少し広報してほしいです。 あと医療機関案内ですが、年末に子供が中耳炎になり困ったときに利用しましたが、いくつも候補を挙げてくれたものの、結局受診できず、消防署に電話したらすぐに受診できる病院を案内してくれました。
511	子供がまだ小さいので何かあった時にいつでも相談にできるのは、とてもありがたいです。

512	子供が小さい時、さいたま市の救急相談に電話して、救急車を呼ぶかどうか判断を仰いだことがあった。とても助かった記憶がある。県でもそういう取り組みがあるのなら、母親学級などでも一言あったりすると、心強いのではないかと思う。
513	子供が小さい時は、救急のことは気にしていたが、だんだん関心が薄れていた。しかし、いつなるとき必要になるかもしれないので、改めて知っておくことが大切だと、感じた。
514	子供が小さい時は利用したことがあります。毎月の市広報などで大きく取り上げて周知できるようにしていただきたいです。家は新聞を取っていないので、知る方法は市からくる広報紙しかないのが現状です。
515	子供も大きくなったので、7119番を知りませんでした。効果的な宣伝としてはSNSの広告が良いのでは？若いママさんはネットで病院予約などするので。
516	市の広報に内容を、掲載してほしいです。
517	市の広報誌に情報を載せる
518	市の保健センターなどでポスターを見かけるが、内容の説明がなく、「119」との違いすらわからな
519	市町村との連携等が、わかりません。県独自の取り組みで市町村は含まないのですか？
520	市町村の広報紙にて周知してほしい。
521	市町村の広報誌の活用。全国放送の民間テレビ局のスポットを利用するのは効果的と思いま
522	市報でも見た覚えがありません。ポスターなどで呼びかけるのはいかがでしょう
523	市報には載っていますか？読んで無いのかもしれないですね。
524	市役所などにポスターで宣伝すると良いと思います。
525	市役所など公共施設や交通機関にポスターなどで広報してほしいです。
526	支持政党の県議・市議の時局講演会でなんとなく聞いたことがある気はしますが、日常あまり情報が意識の中に入っていないので、なにか効果的な周知・PRの仕方があると良いですね。
527	私87歳、家内85歳の二人暮らしです。お陰で元気ですが、高齢のため、いつどのようになるか、なったときはどうするか心配です。その時は#7119へ電話するつもりですが不安です。ご指導いただければ幸いです。
528	私は、電話口で直接、相手と話しながら相談するほうが向いているとおと思いますが、これからは、AIもよいかと思います。AIですと、パソコンがないとなにもできないのでしょうか？スマホでも、簡単に操作できるシステムにしてほしい。
529	私は119番で病気になった時、どこの病院に行けば良いかの情報を尋ねて教えて頂いております。
530	私は救急車を利用することで、大けがをしたとき助けられた。両親も同じように助けられている。高齢化社会になっていくこの時代はこのパターンは避けられないでしょう。さて、埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談は当然24時間対応でしようが、もう少し日常私たちが頭に思い浮かぶようにする用にPRする必要があると思います。何か役所に電話するように堅く構えてしまいます。110の救急車は時間も要しましたが日常生活の中に入り込んでいます。時間を要すると思います。
531	私は埼玉県在住、埼玉県勤務なのですが、埼玉県救急電話相談や埼玉県AI救急相談のことは全く知りませんでした。今の世の中色々な情報発信源があるにも関わらず、知らない人が他にもいるのであれば告示方法を検討した方が良いのでは？ただ、もし万が一自分の家族に何かあった場合、相談できる余裕は無いと思います。
532	私は使ったことがないが、お年寄りでも使いやすいものにしていただけたらと思います。
533	私は情報収集が出来ていませんでした、もっとPRして下さい。
534	私は全然知りませんでした。県の広報誌でおおきくPRして下さい
535	私も知らなかったように、認知度は低い。広報で県民に浸透させてほしい。
536	試しに電話をかけてみる訓練イベントがあれば身近に感じられて、いざという時にやった事もない挑戦をせずに済み、緊急時でも冷静に対応できる心構えができるのではないかと思います。
537	次男が小さい頃に、小さなお菓子を鼻に入れてしまい、その当時は県の幼児救急の相談室へ相談しました。子供が小さいと夜間や休日に怪我や発病した時にどうしたらよいか相談出来ると心強いと思います。
538	自宅の固定電話に張り付けるシール(番号が記載のもの)を、各戸に配布する。必要時にすぐわかるようにしたい。
539	自分では、広報とかよく見る方だと思っていましたが、知らないことが多くてびっくりしました。もっとこのことを、広く知らせてほしいです。
540	自分はもちろん、家族などが体調を崩した時にアドバイスがいただける所がある、というだけでも心強く思います。長く続けていただきたいシステムです。

541	実にいい制度だと高く評価するが、かなりの県民に届いてないとすれば評価はゼロといわれてもしょうがないのではないか。
542	実際に使った人の感想などを広報に載せて欲しい。使い方の具体的な例も知りたい。
543	実際に相談し、救急対応をしていただいた経験談を広報誌や県のホームページに載せてはどうでしょうか。経験談はきっと役に立つと思います。
544	実際の利用は まだありませんが、こうした窓口が有るという事で、心理的な安心感を保てています。
545	主治医マチ医者 of 脆弱化が加速するここ埼玉県にあって、人口調整とも思える少子高齢化の現状に今ブチあたり戦う地方都市の地方過疎エリアの志を本県医療関係各位に見習うよう、上田継承県政を支える覚悟を持った県庁一丸に期待する。
546	取り組みは理解できるし協力したいが、判断に迷うだけで二度手間になるのも避けたい。
547	周りの人があまり知りません。もっとお知らせが必要です。医療機関の窓口ポスターを張らせてもらうなどしたらいかがでしょう。
548	周知してほしい。
549	周知活動を行う
550	周知不足と思われます。
551	出来るだけ、方法、内容など広く報知してもらいたい。
552	初めてそうした窓口がある事を知りました。県内の病院では張り紙などの案内があるのでしょうか。あまり通院しないため存じませんでした。せつかくの便利な機能なので、告知媒体を増やすなどしてもらえたら良いと思いました。
553	初めてにこの制度があることが分かった。情報収集をかなりしているが、知らないことはPR不足しているのではないのでしょうか。
554	初めて知ったので利用します、人にも教えます。
555	初めて知りました。
556	初めて知りました。
557	初めて知りました。
558	小児に関しては、乳児訪問や乳児健診などで周知される機会があるが、成人に関してはあまり見かけることがなく、回覧板などで定期的に周知するなどしたほうが良いのでは。スーパーや医療機関などにポスター掲示をしてもらうのも目にする機会が増えるのではないか。
559	小児科救急は大切です。この度は孫が川崎病で助けていただきました。
560	小生の不勉強と申しますか、不心得と申しますか、この様なシステムがある事を全く存じませんでした。県の広報誌やホームページでも、気が付きませんでした。#7119だけでも記憶して置くべきだったと、反省頻りです。
561	症状によりすぐ連絡できることは大変助かります。
562	詳しく知る機会があれば嬉しいです。
563	詳細がわからないので、周知させる時間が必要です。
564	上尾市は「緊急医療情報キット」なるものがあり、冷蔵庫に貼ってあります。それと同様に冷蔵庫に貼れるような案内書類を作って町内会等の機能を使って配ってはどうでしょうか。
565	情報が少なすぎる。広報見る見ないに任せるのではなく別の手段で知ってもらうようにしてほしい。
566	色んな対応しているんだと思った。
567	色んな場面でさらに周知を進めて頂けるとありがたいです。
568	色々知らないことがわかりました。さいたま市の人には東京で働いて寝るために帰るところなので、急病もさいたま市以外で起こることも多いと思います。
569	新聞各紙の地域版に継続して記事化を願いたいですね。新規情報ではないので救急当番医の枠のような固定情報ができればベターです。
570	新聞等でよく耳にすることですが迂闊にも埼玉県でも相談窓口があるのはしりませんでした。そこで耳にすることは相談窓口と地区の民生委員とか警察との連絡がスムーズにいていないように感じられます。通り一片のお役所仕事になっているように感じられます。事件等になると責任者一同がそろって頭を下げて終わりというように見受けられます。責任の所在がはっきりしないのと、もっと親身になって相談の行方を見守ってほしいと思います。町内の掲示板にも掲示して皆の目に触れるように願います。
571	浸透していないと思う。
572	深夜、救急電話相談を使った際、婦人科へ行った方がよいか内科へ行った方がよいのかはつきりせず、結局該当する病院の連絡先を教えてもらっただけで、自分でいろいろな病院に電話をして、受け入れてくれる病院を見つけ、未明4時ごろ車で運転して受診した。その間妻は痛みでめたうち回っていました。尿管結石でした。病院まで連絡していただけるまでやっていただけたらよかったです。
573	申し訳ないですが知りませんでした。市役所の広報誌など、密着した媒体でお知らせ頂きたいです。

574	身近に思えない。医療機関に行った方が安心する。
575	身近に相談できる場所を提供して欲しいね。
576	身体一部分がとても痛い時、緊急を要するのか、そうでは無いのか知りたい。
577	人のつながりが薄くなっている現在、相談ができず、孤立している老人・若者が多いのではないかと感じています。 埼玉県の話電話相談・AI救急相談を充実させ、県民へのサービス向上には大賛成です。
578	図書館や公共施設へのチラシ(広報のエキス)を配布すべきだろう。
579	推進していただきたい
580	世の中はAIが流行っていて、凄いかもかもしれないが、やっぱり生の声の方が温かみも感じるし、安心できると思う。
581	是非利用したい。 周知・普及の推進を希望
582	制度があるのを知らなかった。
583	正直このような窓口があることを知らなかったのもう少し周知させる事が必要ではないかと思いました。 駅周辺や自治会の掲示板などにいたるところにポスターを貼るなど。
584	先週、家族がケガをして診察してくれる病院が見つからず大変でした。症状を伝え、なるべく自宅から近い病院を何件か探してくれました。紹介してくれた病院で診察してもらい、ホッとしました。自分では救急なんて大袈裟だと思ってましたが、全治3週間。あの電話が繋がって助かりました。
585	宣伝が足りなさすぎ!!!
586	全く知らず残念でした。 通院していれば病院等で知り得るのでしょうか。通勤途中の駅等にポスターを貼るなど広報をお願いしたい。
587	全く知らず失礼しました。
588	全く知らなかった。 救急相談より救急車だと思うから! 相談員が医者なら使うかもしれない
589	全く知らなかった。テレビの健康番組のような一般論だけのものなら不要なのではないか。具体的に医療機関の紹介までしてくれるのかな?
590	全く知らなかった。もっとPRしていただきたい。
591	全く知らなかったのもう少し周知できるように、工夫してほしい
592	全く知らなかったのもう少し周知してほしい。
593	全く知らなかったのもう何かにつけてアピールした方がイイと思います。
594	全く知らなかったのもう何もわからず、特にコメントもありません。
595	全く知りません。もっと大々的に宣伝すべき。
596	全く知りませんでした。 SNSでの投稿やネット広告など、様々な媒体で情報発信したり、キャンペーン期間を定期的に一定程度設けてPRをして欲しいと思いました。
597	全く知りませんでした。 今のところ、活用の必要性もないため、広報的なものがあったとしても気づかないのかもしれませんが。急に必要になった場合困るので、電車などの目につく広報を続けていただきたいと思います。
598	全く知りませんでした。広報、図書館、市役所などにパンフレットがあれば見れるかもです。
599	全く聞いたことがありませんでした。もっとPRすべきです。
600	全然知らない
601	全然知らないのもう少し宣伝して欲しい。
602	全然知りませんでした。県民だよりに載っているのですか?
603	早く知りたいです。
604	早朝 近くの北里メディカルセンターに電話したら 医者がインターンしかいないのでと診察が無理とのことで電話相談を紹介。そこで2医療機関を紹介。後日分かったことであるが「2件のうち一件はその能力で疑問」運よく他の機関に行ったので 一命を取り留めた。10年前の事。夜間目を傷め電話、近隣の眼科医を紹介してもらおうのにかかり時間がかかった。理由は開業しているか 確認していた。 事前に調査しておけないのだろうか。
605	相談してるのに、「最終的にはご自身でお判断ください」ってアドバイスはやめてください。 命に関わる問題です。「ちょっと大げさになっちゃったけど、何事もなくて良かったね」って観点で、相談にのってください。
606	相談しないに越したことはない 7119は頭に叩き込んである
607	相談することで安心感がある。広報や駅に分かりやすく宣伝してほしい。

608	相談する時にはAIは頼らないと思う。人間じゃないと、安心できない。そういう人は多いと思う。病院検索だったり、そういうことにはAIで十分だと思う。過度な救急出動が少しでも減りますように。
609	相談では緊急時に意味はないように感じます。 すぐすぐかけつけられるくらいの機動性をもたせてほしい。
610	相談の充実とともに、医療機関の充実を望む。
611	相談や診断をしてもらっても、結局他人事で、自分で対処しなければならないという印象がある。また、関係あるかわからない持病を説明しても、改めて検査をされるケースが多く、対応する医師や病院のやり方にも疑問が残る。であれば、自分の知っている医師や医療関係者に相談し、紹介を受け、相談したほうが、面倒見が良い。
612	相談出来る事を全く知らなかった。
613	相談相手がAIだと気軽に相談出来て良いと思います。AIとの相談で解決しなかった場合、従来の緊急相談に電話すれば相談もスムーズに出来ると思います。
614	相談窓口があることを知らなかった。94歳の母が倒れた時は迷わずに救急車を呼んだ。相談できるところがあるのは心強いと思う。
615	存じ上げず、でした。FBなどに上がっていましたでしょうか。翔んで埼玉を使用した知事選ポスターのように目立つ広報を望みます。
616	存在すら知らない方が多いと思います。啓蒙活動してください
617	存在の告知が必要
618	存在を知らなかったので、チラシでもっと知らせたほうが良いと思う
619	存在自体を知らなかった。
620	存在自体知らなかった。周知して頂きたい。
621	孫がいるので、知っているか、娘夫婦に聞いてみたが、知っていても評判が悪いと思っていた。今の若い人はSNSの素人のアドバイスを重視し、行政のサービスを頼ってはいない。認知度を高めるために各市町村の子育て関連サイトから入れるようにする等、工夫し、利用した人の感想から、サービスの向上をしてほしい。今回AIの方は初めて知ったが、知られてないと思う。
622	孫が大量に嘔吐し、そのあとすぐ眠ってしまったとき、パニックになって電話してしまった。落ち着いた対応でこちらも慌てずその後を見守れた。一人で判断するのは同カナの時はとてもいい
623	그가運営する相談に電話した経験がありますが、大雑把な回答だったので役に立たなかった記憶があります。 ニーズがバラバラなので難しいのかな。
624	他のAI機能相談を使った事がありますが、こちらの相談内容が伝わらず、勝手に解釈されイライラが募るばかりでした。
625	体調が悪いときは、かかりつけ医院があるので時間内に行く様にはしていますが、緊急の時は電話相談したいと思っています。
626	大きな病気で 病院に窓口 繋がりが有り 利用している。市の検診を 毎年 受けていて その都度の指摘で 動いている。
627	大切だと思います
628	大切なことだと思いますが、まったく知りませんでした。 あれば、大変助かりますが、どんな場合に誰が相談に乗ってくれているのでしょうか？
629	大切なご相談と考えます。
630	大切な仕組みと思います。 周知をお願いします。
631	大変参考になりました。何かあったとき救急車を呼ぶほどで無い時に利用したいと思っています。
632	大変有益な施策にもかかわらず、全く知らなかった。県民のひとりとして、もっと広報やPRに力を入れることを求めます。
633	大変良い制度と思います。ますます埼玉県は良くなっていきます。安心できます。
634	知って良かった
635	知らない
636	知らないことが多いなあと思った。
637	知らないサービスなので何もありません。 謝礼が抽選になり、アンケートに答えるモチベーションが減りました。 去年も一昨年も抽選からもれています。 抽選はやめてほしいです。
638	知らない事ばかり。どのように県民に周知をしているのか。
639	知らない人が多いと思います。広く発信したほうが良いと思います。
640	知らない人が多いと思うのでもっと広報活動をお願いします
641	知らない人たちが多いと思うのでPRなどをすべきでしょう！！
642	知らない人の方が多いと思うので、積極的なPR活動をお願いいたします。

643	知らない人も多いと思うのでもっとアピールをしたほうがよい
644	知らない内容でした。
645	知らなかった
646	知らなかった。 どんなものなのか、調べてみる。
647	知らなかったため、知ることのできるように機会があればよいと思います。
648	知らなかったので、今後は利用したい。
649	知らなかったのですが、小さい子供がいる家庭などでは心強いと思います。
650	知らなかったので駅とか公共施設等の目につく場所に掲示してほしい
651	知らなすぎるので、広報することは多いかもしれませんが頑張ってください。
652	知りませんでした。
653	知りませんでした。フリーペーパーなどの広報もいいのですが、見ない人も多いと思うので、県内向けにテレビ広告をうつか、市役所、駅など目につく場所にポスターなどで目立つ方法をとると、広がっていく気がします。
654	知りませんでした。医療機関などでもポスターが貼ってあるのを見落としているかもしれません。駅など目につくところへの掲載などを広げる必要があると感じます。
655	知りませんでした。県だけでなく、もっと身近な市報にも載せてもらって宣伝したほうが良いと思いました。
656	知りませんでした。県民に周知されていないように思います。
657	知る機会がなかったので、知る機会を増やしてほしい
658	知名度が低いと思います。各市町村の広報にも記載して広報したら如何でしょうか。
659	地域に由来から活躍されている民生委員との連携が重要に思います。 日本は今、高齢化社会で一人住みや老人世帯が多いと思います。この中でこのようなネットワークが重要に感じます。
660	地区の自治会の掲示ボードなどを利用し告知すれば意外と知れ渡ると思います。
661	地元ピンポイントを絞った情報は消防署や地元の病院から聞く方が状況がよくわかるので埼玉県救急やAIは一般的には…とのコメントの様な感じがあります。ないよりはあった方がよいとは思いますが、救急だけに…と思います。
662	恥ずかしながら、埼玉県で独自にしているとは知りませんでした。どこに電話したらよいかわからず、もう少し広報に努めるべきかと思えます。
663	恥ずかしながら、双方とも知りませんでした
664	町内会の幹事がもっと知って、回覧板や町内会会員に披露して欲しい。
665	聴覚障害の方等に有効だと思うので広報誌など効果的な広報誌やホームページなどで紹介す
666	直接かかりつけの病院に行くのが普通かな
667	定期的に新聞広告を入れて欲しい
668	電車等の広告でもっとPRすべきだと思います。
669	電話が繋がらない時などには、助かると思う。
670	電話だとなかなか繋がらなくて困った。AIの方を利用してみたい。
671	電話の近くに貼っておけるシールなどで、もっと広めて欲しい。
672	電話より実際の救急受け入れ先を確保して欲しい 小児の救急は特にな 受け入れ先を探すだけで1時間 重篤だと死んでる
673	電話機に貼れるサイズのシールなどになっていたら、番号を忘れても大丈夫だし、無くす心配もないので、救急車を呼ぶ前に救急電話相談にかけやすくなると思う。
674	電話相談でアドバイスもらい、医療機関に電話しても、すんなり受け入れてくれる医療機関が少ない。大切な人が急を要する場合に利用している事が多いので、平常心でいられる人が少ない事が想定出来る。なので、事前に医療機関へメール等の手配をしておく事が出来たら良いと思います。メールなら医療現場も迷惑が少なく、電話を受けながらも読み、情報収集出来るので。
675	電話相談の前に、医療機関の救急体制の整備が優先されるべきでありましょう。
676	電話相談の担当者が面倒なのか、極めてぞんざいな対応に終始する、多分たまたま一部の人の思うが。
677	電話相談は、夜間の子供の怪我等で利用しました。受付してくれる病近くの病院を教えてもらい助かりました。AI救急相談は、出来たのを知りませんでした。病院やスーパーなど身近なところにも案内があるといいなと思います。
678	電話相談はもっと告知した方がよいと思う。知らない人が多すぎる

679	電話相談やチャットで相談をするよりも、いざ緊急という時は救急車を呼ぶか、タクシーで病院に行ってしまうだろうと想像する。又は、夜間であれば、とりあえず市販の薬で痛みを抑え、早朝、病院に診察に行くだろうと思う。但し、病気がどうか判断がつかないで迷ったりする場合、多少症状に余裕がある場合は、病院で診察する前に相談できるような機関があると助かると思う。
680	電話相談を使ったことはないが、つながるまでに時間がかかりそうなイメージがある。AI救急相談も使ったことはないが、インターネットでの筆談相談のイメージがあり、これであると比較的につながりやすいのかと想像する。他のAIを利用したことはあるが、繰り返しの質問にも真摯に対応してくれるイメージがあり、経験値が増えれば、良いと思う。但し、経験値が増えるまでに医療事故が起こったら、誰が責任を取ってくれるのだろうか。
681	電話相談を利用するような場面に遭遇したことがないので、今まで知りませんでした。いざという時のために、普段から救急相談できるところがあると知っていると思強いです。家の電話の横にでも、救急車を呼ぶ前に救急相談のようなステッカーでも貼っておけば困ったときに利用したいと思うかもしれません。まずは、周知徹底をはかり、だれでも気軽に利用できるということを繰り返したてて伝えていくことが大切だと思います。
682	電話対応なので細かく説明できるので効果はあると思われ、電話がすぐにつながるかが心配です。AIは緊急の時にパソコン開いて対応できそうにありません、そして、結果救急車を呼ぶなら、AIで相談するより、すぐに救急車を呼んだほうが良いと思いました。
683	電話番号が覚えられません。いざと言う時に思い出せない。
684	電話番号を記載したシールのようなものが固定電話のところにでも貼ってあれば、いざという時に電話をしてみようと思うのでは。そのためにシールを作成、配布してはいかが？
685	東京から引越してきて夜間に診療している小児科が少ないことを不安に感じていました。症状に応じて自宅で様子を見たほうが良いのか病院に行くべきか親切に相談に乗って頂きました。夜間に相談に乗ってくださることでとても安心できます。
686	東京都で同様の取り組みがされていることは知っていたが、埼玉県にあることは今回のアンケートで初めて知った。
687	同居する子供がいないため救急相談等の必要性を感じていませんでしたが今後、高齢化に備えてこれらの仕組みを知っておこうと思いました。
688	特にありません。 救急電話相談、AI救急相談は聞いたことがありません。
689	特にない 広く知らしめる活動が必要（必要以外救急を呼ばない方法） 本当に呆れるくらい救急を利用している方がいる 軽い方への利用料の徴求も必要と思う
690	特に小児救急電話相談に大変お世話になっています。 深夜や休日、受診の判断だけでなく、対処方法や食事のアドバイス、励ましなどもいただき、とても助け・支えになりました。 助けになる反面、こんなことで相談してもいいのか？迷惑じゃないか？心配でしたが・・・ また、大人が救急の病気等になった場合、子供はどうすべきか？（深夜はファミサポの緊急サポートも使えない）など、どこかに相談できるものなのでしょうか。
691	突然のけがなどに対応できず、困ったことがあったので、きちんとした対応箇所があるのはよいと思う。昔自分が体験した時、電話相談の対応が良くなかったので、素人がパニックで電話するので、冷たい言葉での対応はやめてほしいと思った。
692	内容を確認出来るように新聞等で記載して欲しい。
693	内容を理解しているつもりですが、実際に発生した場合には緊急度判定に対応等の準備でやや心配です。市町村のPRも大切だと思います。
694	二人の使った人から話を聞いたことがあります。それぞれ役に立ったと聞いています。必要な時には使わせていただこうと思っています。
695	乳児の体調不良時に実際に使ったところ、「まあ様子見て」みたいなふわっとした回答をもらってしまったことがあり、あまり満足度は高くない。結局不安の解消も大きいので、次にとるべきアクション、こうなったらもう一度電話、など明確なうけこたえを期待したい。
696	認知されていないと思う。
697	認知度が低いので、もっとPRしてほしい
698	認知度が低い気がする。
699	認知度が低い気がするので、広報誌などでPRしてほしいです
700	認知度を高めた方がよい
701	認知度余りにも低すぎて、利用される機会がすくなく、生かされていないのではないかと思います。
702	熱中症になったらすぐ相談できるようにしてください。

703	脳外科の救急病院が不足
704	鼻血が止まらず、熊谷市の休日センターに行ったが、結局何もしてもらえず、救急車で熊谷外科に回されました。熊谷外科も耳鼻科の医師がおらず、処置できず、翌日、ごみ箱を抱えた状態（鼻血をうける為）で耳鼻科に行きました。そこでやっと、処置してもらえ、通院しました。電話相談を知っていれば、もっと違う方法があったと思います。
705	必要性が分からない。 周囲もだれも知らない。 救急は市町村で対応すべき。
706	病院あるいは医師による広報活動協力
707	病院で案内があるのは電話相談だけでした。AI救急相談も同じように周知してはいかがでしょう
708	病院などの窓口で、チラシのようなものを配ってくれと嬉しい。
709	病院など医療機関にパンフレットを置くとか、市町村の広報誌や新聞などによる周知が効果的だと思います。
710	病院にとって受け入れられる患者に限りがある事は分かっているが、それでもまずは患者の意向に沿った受け答えをして欲しい。 当番制だのカルテが無いだのと言った受け答えは命を救う使命を持つものとして言うてはいけないと思う。
711	病院の待合室に貼っておいたら？
712	病院や診療所にポスターを張るなどして日常生活での周知を徹底する。公共の乗り物やスーパーマーケットなども効果的と考える。
713	病院数の少ない埼玉県にあって、有効な相談窓口だと思います。今回の調査で初めて存在を知りました。もっと広く活用されることを願っております。 相談可能な事例をもっと具体的に列挙していただけると利用しやすいと思います。（相談できない項目はたくさん記入されていますが。）
714	病院等でのインフォメーションが足りないように思います。もう少し効果的に知らせる方法はないでしょうか。
715	病気等の緊急相談を県が行っていることを初めて知った。緊急の病気相談なのに県の誰が、どんな相談に乗ってくれるのか疑問。県の過剰サービスでは？
716	不要な救急出動等を避ける為、非常に良い制度だと思うが、まだ認知度が低いと思う。 小さな子育て世代を中心に、より広い範囲で周知を図るべきだろう。 もう実施されているかもしれないが、母子手帳に連絡先を記載するなど、ちょっとした取り組みが効果的なのではないか。
717	普通の119番ではだめなのだろうか？救急の時にチャット等できるのだろうか？
718	分かり易い 説明やPR を 平素より 更にして貰えば と思います
719	聞いた事が無い。もっと宣伝した方が良い。
720	便利なシステムだと思う。 子供が小さい頃あればなおよかった。
721	便利な制度だと思いますが、認知度が低いと思います。 TVなどでの宣伝をもっとやっても良いと思います。
722	勉強不足で申し訳ないのですが、聞いたことがあったような、なかったような …。 おそらく広報活動はされていると思いますが、知らなかったのは私だけでしょうか。
723	法律の整備を行い、AIならば該当者の医療情報を把握して、その時に必要な医療判断が出来なければ意味がない。統計情報を駆使するのではなく、個人医療情報と病院治療レベルの把握により最適な医療判断をすべきだと思うので、国家レベルで活動が必要ですね。
724	本サービスの認知度を上げてほしい。
725	本件についてまったく知りませんでした。 県の人広報だけでなく、市町村レベルでの積極的な広報活動での徹底が必要かと思います。
726	本当に必要でしょうか？疑問です
727	本当に必要な人が救急車を使えるように救急電話相談をまずするということが周知されていないと考えます。 救急の日などに市町村やSNSなどで宣伝するなど関連付けすると印象に残りやすいと思います。
728	毎年人間ドックで異常がなく、急な病気や怪我をしたことがない。救急車を呼んだこともない。
729	万一の場合の相談窓口があることは、生活の安心につながり、県民にとってありがたいことです。関係者皆様のご努力に感謝します。
730	未だ周知努力が不足しているのかもしれませんが 今後広報活動を通して県民の多くに周知する必要があると思われます。

731	民間企業と協力、契約を結び、例えばJRの車内や駅構内で広報する。また、広報について知らせたいターゲットが明確であるならば、そのターゲットがよく利用する場所や店舗、例えばレジ横の目に付くポイントに広報誌を貼るなど検討を願いたい。
732	無駄な救急車の利用は税金の無駄遣いですので、もっと積極的に広報をした方が良いと思います。
733	迷った時に助かります。救急車等にステッカーを貼ったら良いのでは？
734	夜に熱中症になり救急車をよぶほどでないと判断しタクシーで行くことにしたがどこで夜間診察できるかわからず電話してみた。AI救急相談はあまりきかないし広報でも紹介されてない。もう少し知識があれば利用したかもしれない！そのような新しくできたものは何かの形で発表してほしい
735	有難い政策に感動。
736	利用したことが無いのでわからない
737	利用してみて意思疎通のできない乳幼児には相談の前に救急車が必要と思った。
738	利用する事態が無いことを願いつつ、今後に備え電話帳に記載します。
739	両方とも知らないので周知方法を考え直す必要があると思います。
740	両方とも知りませんでした。 色々な場面で広報をすることを望みます。
741	良いシステムですね
742	良い取り組みと思います。
743	良くわからない。PRが必要
744	臨機応変な対応が出来るのかが心配です。
745	練習で使ってみるのもいざという時のために良いと思う。